安全にご使用いただくために

当製品のご使用にあたっては、電化製品を使用する際の一般的な順守事項に加えて、以下の注意事項を必ずお守り下さい。

また、ご使用の前には必ず説明書をご一読の上、操作方法を十分理解してから、ご使用下さい。

当製品をご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから外しておいて下さい。

警 告

感電、火災の恐れがあります。次の注意事項をお守り下さい。

1. プラグをコンセントに接続したままで、コンピューターミシンから離れないで下さい。

2. ご使用後、またはコンピューターミシンの掃除をする際には、必ずコンセントからプラグを抜いて下さい。

危 険

感電、火災、けがの原因になります。次の注意事項をお守り下さい。

1. おもちゃとして絶対にご使用にならないで下さい。また、小さなお子様の近くでのご使用時は、特別の注意をお願い致します。

2. この説明書の記載内容に従ってご使用下さい。また、ベルニナ社がお薦めする付属品のみをご使用下さい。

3. 次のような場合には、当製品の使用を中止して下さい。
   - コンピューターミシンやフットコントローラーのコードやプラグに傷があるとき。
   - コンピューターミシンが正常に作動しないとき。
   - 落としたり、損傷したりしたとき。
   - 水の中に落としたとき。

   このような場合には、お近くのベルニナ正規販売代理店に、コンピューターミシンの点検、修理、調整のご依頼をお願い致します。
4. コンピューターミシンの通気孔をふさがないで下さい。また、コンピューターミシンの通気孔に糸くずやほこり、布きれが詰まった状態で使用しないで下さい。モーターが過熱する原因となります。
5. 操作中は、動く部品に指を近づけないで下さい。特に針の回りでは、細心の注意を払って下さい。

6. 常に当製品専用の針板をご使用下さい。まちがった針板のご使用は、針折れの原因となります

7. 曲がった針は使用しないで下さい。

8. 裁縫中に布を引っ張ったり、押し込んだりすると、針をいため、針折れの原因となります。

9. 糸、針、ボビン、押え金等を交換する際には、コンピューターミシンの電源スイッチを切って下さい。

10. ミシンカバーを外したり、注油、又は説明書に従って調整したりする場合には、必ずプラグをコンセントから抜いて下さい。

11. コンピューターミシンやフットコントローラーの隙間からものを入れたり、差し込んだりしないで下さい。

12. 戸外では使用しないで下さい。

13. 酸素ガス等の引火性のあるスプレーを使用している場所では、使わないで下さい。

14. プラグをコンセントから抜く前に、必ずコンピューターミシン本体の電源を切って下さい。

15. プラグをコンセントから抜く場合には、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜いて下さい。

16. 以上の使用方法を順守しないために生じた損害に対しては、いかなる場合も当社は責任を持ちませんので、ご了承下さい。

17. 刺しゅう機の使用中にコンピューターミシンを放置することは絶対にしないで下さい。

18. 電子部品の保護のために、刺しゅうの最中に刺しゅう機から刺しゅうカードを引きぬくことは絶対にしないで下さい。

説明書の保管

当製品を安全にご使用いただくために、この説明書は大切に保管して下さい。

BERNINA®

この度は、ベルニナ・ソーイングおよび刺しゅう用コンピュータ・アーティスタをご購入いただき誠にありがとうございます。あなたのソーイング・ライフにおいてもっとも エキサイティングな出来事のひとつではなかったかと存じます。

お客様にご満足いただける卓越したスイス・クオリティと未来を見据えたソーイングテクノロジーを先取りして開発した、他に類を見ない顧客サービスに支えられたベルニナ社の製品をお届け出来ることを誇りに思う次第です。１００年以上にわたる年月を超えてこのファミリー経営のベルニナ社を支えて来た原動力はこの誇りであり、私もこのベルニナ社の伝統を継承してゆく考えでおります。

"Welcome to the BERNINA family"

名前が示すとおり、«アーティスタ»ソーイング・コンピュータは、あらゆるソーイングにおいて無限の喜びを可能にしてくれる、まさしく芸術品です。あなたの創造性を鼓舞し、あなたが意図するアイデアを最高の形で実現させる重要なお手伝いをしてくれることと確信します。

さらに、無限のソーイングを全て可能にする豊富なソーイング・アクセサリーと、実践的でクリエイティブなベルニナ・ソフトウエアーで、ベルニナ流のソーイングを存分にお楽しみ下さい。

H. P. Ueltschi
Owner BERNINA
Sewing Machine Company

www.bernina.com

ハンスペーター・ウルチ

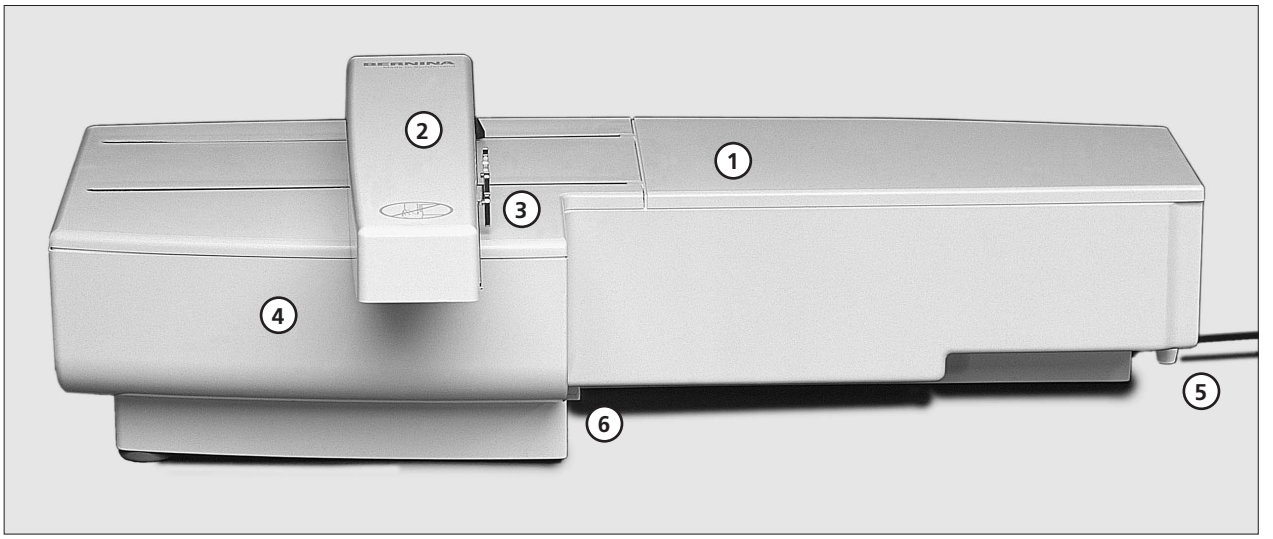
代表取締役

フリッツ・ゲガウフ株式会社、ベルニナコンピューターミシン製作所

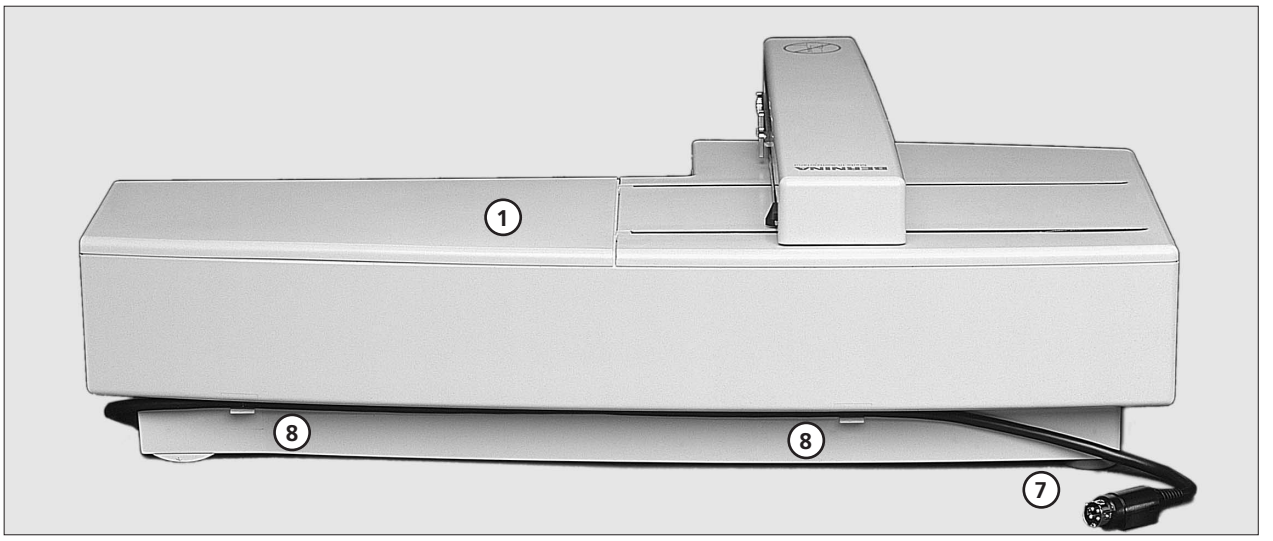
CH-8266 Steckborn，Switzerland

1	安全にご使用いただくために
2	ごあいさつ
4－5	刺しゅう機の詳細
6－7	刺しゅう機の接続方法
8－14	一般的なご使用方法
15－16	各種メッセージについて
17－18	刺しゅう用安定紙（接着芯）について
18－19	布を刺しゅう枠にセットするには 刺しゅう枠の取り付け方および取り外し方
19	刺しゅう枠の調整について
20	刺しゅう枠の自動サイズ読み取り機能
20－21	デザイン、文字、数字等を刺しゅうする
22	刺しゅうを始めるには
22－30	デザインと各種機能の組合せ
31－34	デザインと文字の組合せ
34－35	デザインを保存する
35－36	データを削除する
36	フリーアーム刺しゅう
37	刺しゅう中の糸切れ / 刺しゅうデザインのまとめ
38	刺しゅう糸について
39	別売りオプションについて
40	索引

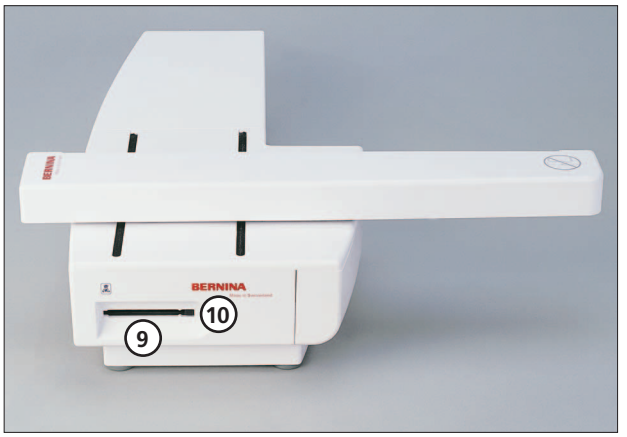
刺しゅう機の各部名称



前面

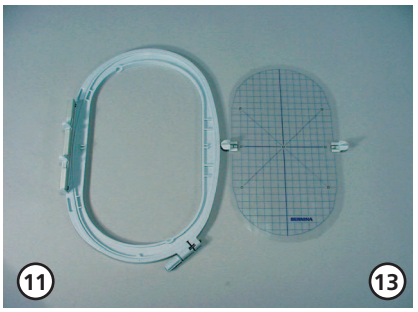


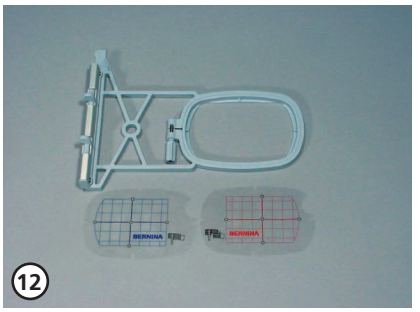
背面

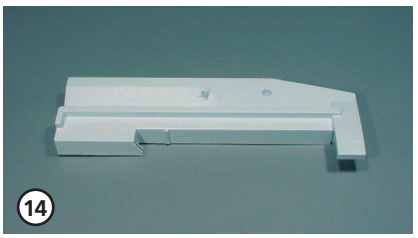


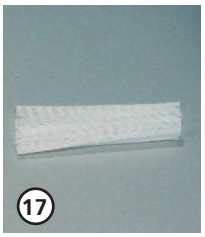
左側面

1．　刺しゅう用テーブル
2．　刺しゅう用アーム
3．　刺しゅう枠接続フック
4．　アクセサリー収納用引出し
5．　接続用右突起部
6．　接続用センター突起部
7．　接続用コード
8．　コード収納用ホルダー
9．　刺しゅうカード挿入口
１０．刺しゅうカード取り出しボタン



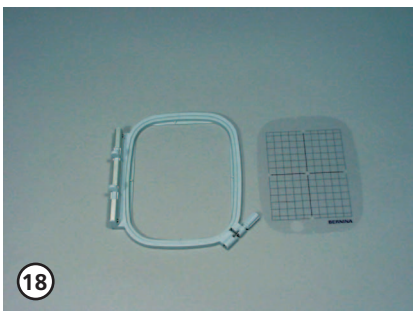


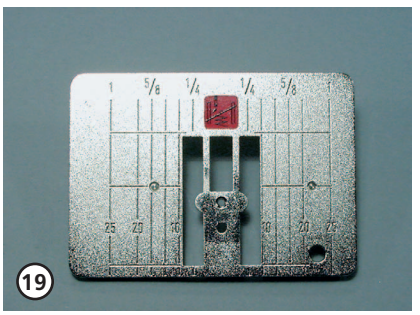


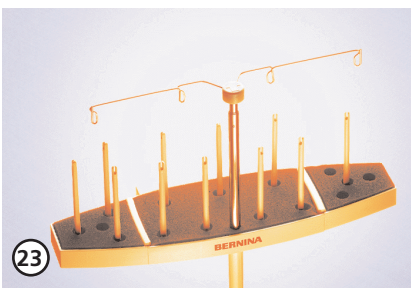


標準アクセサリー

11. 大型刺しゅう枠 (145×255mm)
12. フリーアーム用小型刺しゅう枠（72×50mm）
    青いテンプレートは通常の使用、赤いテンプレートはフリーアーム刺しゅう用
13. 刺しゅう枠用テンプレート（大型および小型）
14. フリーアーム刺しゅう用アダプター
15. 刺しゅう用押え15番
16. 刺しゅう機キャリングバッグ
17. 上糸こま用ネット
    （糸滑り防止用）



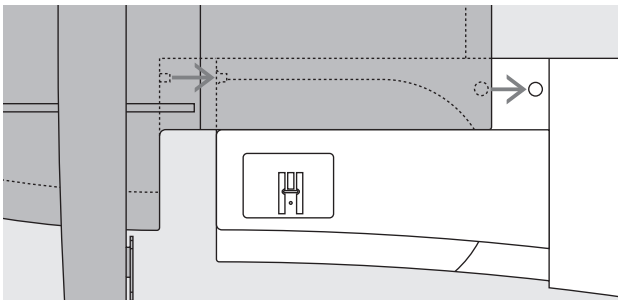




オプションアクセサリー

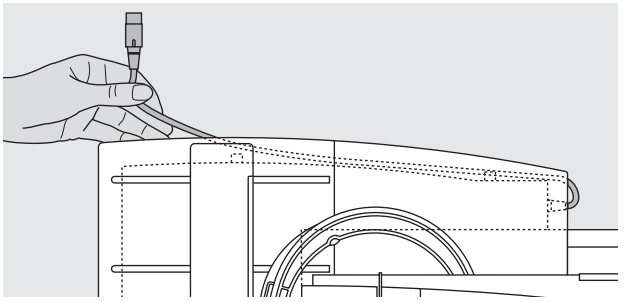
18. 中型刺しゅう枠及び刺しゅう枠用テンプレート
19. 直線縫い用針板
20. 各種刺しゅうカード
21. ベルニナアーティスタ刺しゅう用パソコンソフト
22. ミシンおよび刺しゅう機用スーツケースシステム
23. マルチスプールホルダー

刺しゅう機とミシンの接続方法



刺しゅう機をミシンに取り付けるには

- ミシンの電源をオフにします。
- ミシンのアクセサリーボックスを取り外します。
- フリーアームの裏側の部分に刺しゅう機を置きます。
- 刺しゅう機をミシンの左側から右方向へ押して、接続用突起部をベースプレートに合わせます。

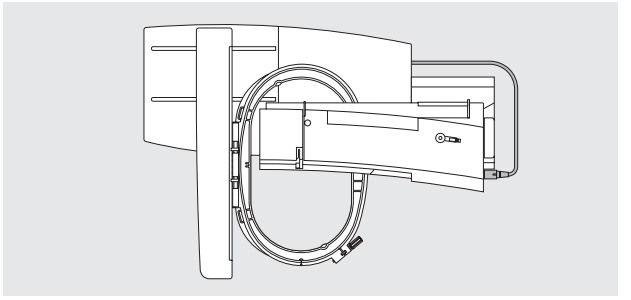


コードのはずし方

- このコードでミシンと刺しゅう機を接続します。
- 刺しゅう機背面のホルダーから、コードを引き出す。

コードを刺しゅう機に収納するには

- ケーブルを二ヶ所のホルダーに挿入します。
- 上から静かに押えて、固定します。

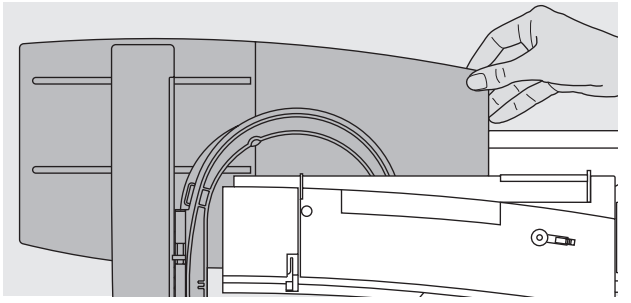


コードを接続するには

- 刺しゅう機のホルダーから、コードを引き出します。
- ミシン右側のソケットに、プラグを差し込みます。その際、プラグの平らな面が後ろに向くように。

コードのはずし方

- コードの端の黒いプラグを持ち、
- プラグを抜きます。



刺しゅう機の取り外し方

- 刺しゅう機の後方右の角をつかんで、刺しゅう機を持ち上げ、左側にずらして取り外します。

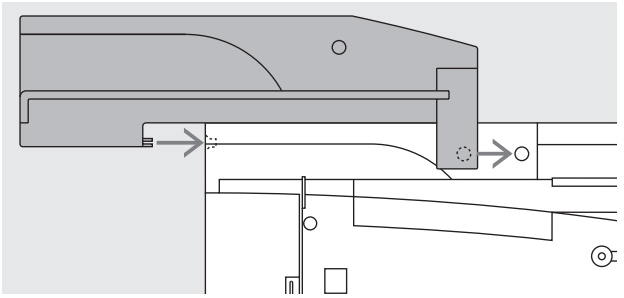
ご注意：刺しゅう機を取り付ける際には、刺しゅう機とミシンのベッド面に段差がないこと、また刺しゅう機が傾いたりしていないのを確かめてください。

ご注意

持ち運びの際には、必ず刺しゅう機をコンピューターミシから取り外すようにしてください。接続した状態で運ぶことはできません。また刺しゅう機の接続は、ミシンの電源をオフにしてから行なうようにしてください。

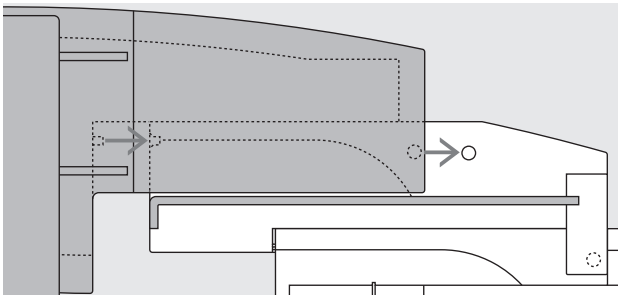
フリーアーム刺しゅう用アダプターの接続

アダプターは、ミシンのフリーアームを使って、筒状のもの（そで、ズボン、ソックス等）に刺しゅうを施したい場合に使用してください。



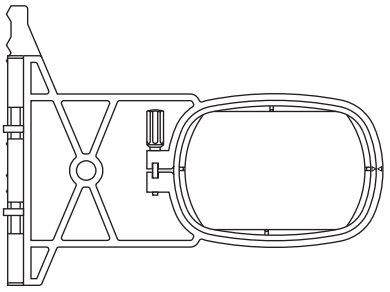
ミシンにアダプターを接続するには

- アクセサリーボックスをはずします。
- フリーアームの後ろ側にアダプターをおきます。
- アダプターを左側からミシンの方に押すようにして、接続用突起部をミシンのベースプレートにセットします。



刺しゅう機をアダプターに接続するには

- アダプターのL字型のガイドと、刺しゅう機の前端部分を、できるだけ近づけるようにしておきます。
- 刺しゅう機をガイド方向に押して、接続用突起部とアダプターのベースプレートがきちんとはまるようにセットします。

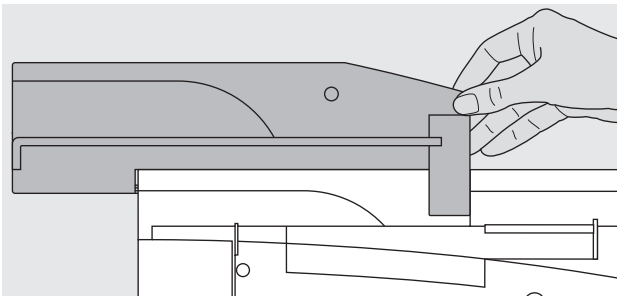


フリーアーム刺しゅう枠

- 小型、だ円形の刺しゅう枠は、フリーアーム刺しゅう用です。

ご注意

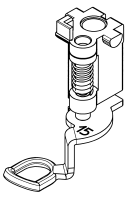
- フリーアーム刺しゅう用には、小型の枠以外は使えません。
- 小型枠以外では、完璧な仕上がりは期待できませんので、必ずこれを使うようにしてください。



アダプターのはずし方

- 刺しゅう機をアダプターからはずします。
- アダプターの背面右側のコーナーを取っ手として使います。
- 取っ手をつかんで、ミシンのベースプレートからはずします。

刺しゅうの準備



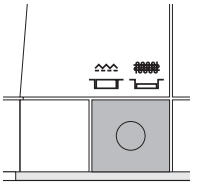
刺しゅう用押え15番

- ミシンに、15 番押えをとりつけます。
- 押えを上げて、刺しゅう枠をとりつけます。

刺しゅうに適した針

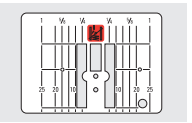
- 刺しゅう糸の太さに合わせて、８０番または９０番の刺しゅう用針を選びます。
- メタリック糸には１３０Ｎやメタフィル針を使います。

メモ：針に関する詳細は、説明書の76–77ページをご参照ください。



- 刺しゅう枠をとりつける際には、針は一番高い位置にあげておくこと。

<<送り歯を下げてください>>というメッセージが表示されます。

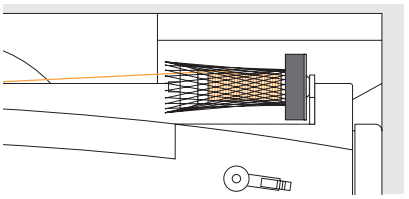


直線縫い用針板(別売りオプション)

- 直線縫い用針板のご使用をおすすめします。
- 直線縫い用針板の針穴は、丸く小さなものです。
- 刺しゅう枠の中で布のずれを防ぎます、
- 上下の糸が縫い目を作る位置を限定し、仕上がりが美しくなります。

コンピューターミシンの糸通しについて

ミシンの取扱説明書の「糸通しについて」のページ 10 をご覧ください。

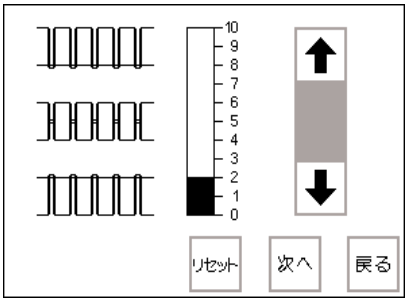


- つやのある、滑りのよい刺しゅう糸を使用する場合には、糸こま全体に図のようにネットをかぶせます。
- 糸がたるまず、送りが均等になります。

ご注意
メタリック糸等の場合には、垂直型の糸立ての方が使いやすい場合があります。

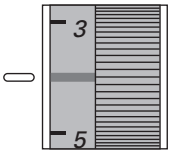
糸テンションの調整

コンピューターミシンの取扱説明書をご覧ください。



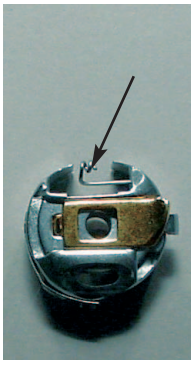
アーティスタ１８０型および１８５型には、自動上糸調節機能がついています。刺しゅうのデザインを選択すると、テンションが自動的に調整されます。布の性質により、必要な場合は自分でも調整できます。

上糸テンションを調整するには
ミシンの取扱説明書をご覧ください。



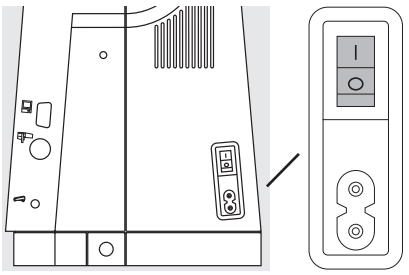
165型／170型では、上糸調節は自動ではなく、マニュアルでするようになっています。刺しゅうの場合、4から6の間にセットします。

その他、布や糸のタイプによって必要に応じて調整しましょう。



下糸テンション
刺しゅう用には、ボビンケースのつのの部分にある穴（写真左　165/170）またはガイド用バネ（写真右　180/185）に糸を通した状態で使います。

デザインの選択

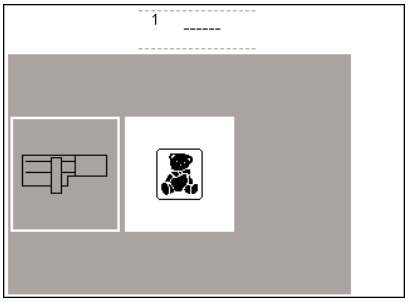


ミシンと刺しゅう機は、外部プッシュボタンとタッチスクリーンの二本立てで操作します。

ミシンをオンにするには
電源スイッチを0から1にする。

「ウェルカム」画面の表示

- 「ウェルカム」画面が約3秒間表示されます。
- この画面は、セットアップ機能で省略することもできます。



メニュー画面

メインメニューには、二つの選択肢があります。

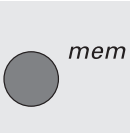
- 刺しゅう機
- 刺しゅうカード

刺しゅう機を起動させるには

- 刺しゅう機のボタンをタッチします。
- 刺しゅう機が接続されていると、刺しゅう機に内蔵されたデザインが表示されます。

刺しゅうカードのデザインを呼び出すには

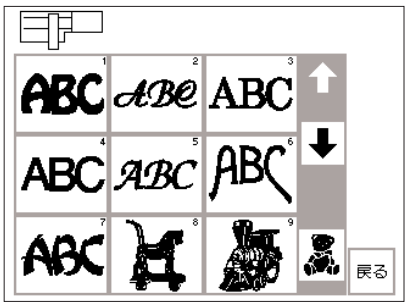
- 熊の絵の刺しゅうカードにタッチします。
- 刺しゅうカードをセットしてある場合、カードに内蔵されたデザインが表示されます。
- どちらのボタンをタッチした場合にも、「送り歯を下げてください」というメッセージが表示されます。
- 続けるときは、<<esc>>ボタンを押して下さい。



刺しゅう機内臓のデザインを呼び出すには

- 刺しゅう機の絵ボタン（左）をタッチします

刺しゅう機を接続してある場合、刺しゅう機のメモリーに内蔵されたデザインが表示されます。

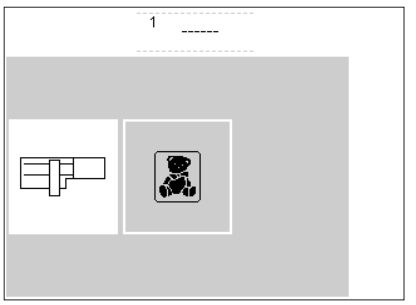


刺しゅう機からデザインを選ぶには

- 刺しゅう機マークを選択すると、内蔵されるすべてのデザインがスクリーンに表示されます。
- デザインにはすべて番号が表示されます。
- 画面右の矢印 ↓ ↑でスクロールできます。
- 画面左上に表示されているのが、刺しゅう機マークで、今現在使用しているものを示します。

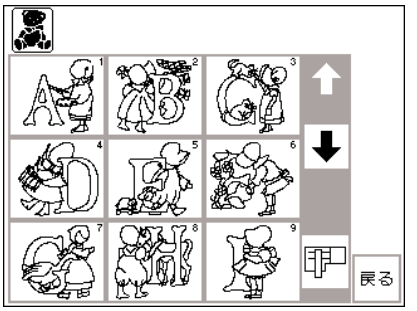
好きなデザインをタッチして、選択して下さい。

- 刺しゅうカードボタン（テディベア）は、矢印下のグレーのバー部分に表示されています。
- 選択するには、ボタンにタッチします。
- カード内蔵のデザインが表示されます。（カードがセットされていれば、刺しゅう機または、カードの内蔵デザインにすぐにアクセス出来ます。）
- <<戻る>>ボタンを押せば、メニューが表示されます。



刺しゅうカードを起動するには

- テディベアボタンをタッチします。
- デザインが表示されます。（カードがセットされていることを確認すること）
- 画面にメニューが表示されます。



デザインを選択するには

- カードに内蔵されたデザインが画面に表示されます。
- デザインにはすべて番号が表示されます。
- 全メニューを見るには、矢印 ↑ ↓ で画面をスクロールします。
- 刺しゅうカードマークが画面左上に表示されます。
- これは画面のデザインが刺しゅうカードから読み込まれていることを示しています。

- 選んだデザインをタッチします。
- 刺しゅう機のマークは、スクロール用矢印 ↓ の下のグレーのバー部分にあります。
- タッチすると、刺しゅう機に切り替わり、刺しゅう機に内蔵されたメニューが表示されます。
- <<戻る>>をタッチします。
- メインメニューに戻ります。

刺しゅう機能

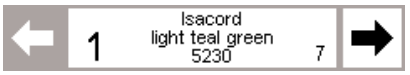
ミシン本体の返し縫いボタンで刺しゅうを開始する
ミシン本体の返し縫いボタンを押します。ピーピッピッピッというシグナル音が消えるまで約3秒間押しつづけるとミシンがスタートします。

- コンピューターミシンは約6針進んでから、自動的に停止しますので、糸端をカットして下さい。
- もう一度返し縫いボタンを約3秒間押しつづけてスタートします。

レイアウト1および2機能
- <<**レイアウト1**>>**画面**が機能している場合、<<**レイアウト2**>>**ボタン**が画面左上に表示されます。
- 切り替えたい場合は、<<レイアウト2>>ボタンにタッチすれば、レイアウト2の画面が機能します。

- その場合、<<**レイアウト1**>>ボタンが、画面左上に移ります。
- レイアウト画面のままで刺しゅうは実行できません。
- <<OK>>ボタンを押して刺しゅう画面に戻ります。

メニュー画面ボタン
- 刺しゅう画面およびレイアウト 1／2画面で表示されます。
- <<**メニュー**>>**ボタン**をタッチすると、刺しゅう機または刺しゅうカードのメニュー画面が表示されます。



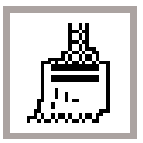
複数色のデザイン
- 刺しゅう画面に以下の情報が表示されます。
- 指定した糸のブランド※※
- 色の名称
- 色番号

- 右側に、デザインに使える色の総数が小さく表示されます。

刺しゅうに使っている色の順番が左側に大きく表示されます。

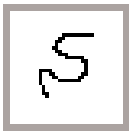
色の順番を手動（マニュアル）で調整するには
- 色の順番を再度スクロールしていく。

- 直前に使った色番号が表示されます。
- 長方形の左側に表示された大きな数字の色が、黒からグレーに変わります。



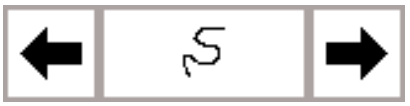
塗りつぶし機能ボタン
- 刺しゅう画面に表示されます。
- ボタンをタッチします。ボタンがグレーで表示されます。

- デザインを単色で刺しゅうできます。
- 糸を変更する必要がないので、一気に完成できます。



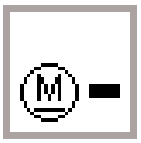
一針送り機能ボタン（糸切れなどの場合）
- 刺しゅう画面に表示されます。

- ボタンをタッチします。
- スクリーンには、糸切れマークが表示されます。



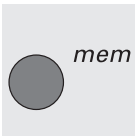
一針送り機能の使い方（糸切れの場合）
- 刺しゅうの最中に糸が切れた時に使います。
- 右向きまたは左向きいずれかの矢印にタッチします。
- 刺しゅうステッチの順序がチェックできます。

- 矢印のいずれかにタッチすると、針の位置を動かして糸切れの場所まで戻ったり、進めたりすることができます。
- 左向きは針目を戻し、右向きは進めます。



刺しゅうスピードの調節
- 刺しゅうスピードを緩めるにはM−ボタンをタッチします。
- 刺しゅうスピードを上げるにはM＋ボタンをタッチします。

- M+ボタン枠の中に%でスピードの増減が表示されます。
- 刺しゅう所要時間は常に100%のスピードで縫った時のものです。

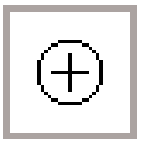


<<**メモリー**>>**機能ボタン**
- 前面パネル上の《mem》ボタンを押します。
- 刺しゅう用メモリー画面が起動します。

- 1つのデザインでもデザインの組合せでも保存、呼び出し，削除が可能です。

※※糸のブランドは、セットアッププログラムの「糸のブランドを変更する」から選択できます。「無し」を選択すると、何も表示されません。

<<始点>>機能ボタン
・レイアウト 1 画面に表示されます。
・ ボタンをタッチします。
・ 刺しゅう枠が動いて針がデザインの始点にセットされます。



<<デザインセンター>>機能ボタン
・ レイアウト 1 画面に表示されます。
・ ボタンをタッチします。
・ デザインの中心点が表示されます。
・ 針位置がデザインの中心にくるように刺しゅう枠が移動します。

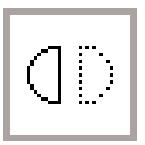
だ円形の刺しゅう枠パラメーターでモチーフの位置をチェックする機能
・ 表示された四角形が、部分的に刺しゅう枠の外にはみ出す場合、モチーフは、刺しゅう枠内に収まって、きれいに完成できるかどうかを判断するため、再計算されます。
・ 1つ以上のステッチが刺しゅう枠からはみ出す場合には、メッセージが表示されます。
・ チェック機能が働かなかった場合、この再計算の作業は、OKボタンを押した後に開始されます。

サイズ<<チェック>>機能（2つの機能があります。）
第一の機能
・ 刺しゅう枠の最大サイズをチェックします。
・ モチーフを読み込みます。
第二の機能
・ ボタンをタッチしたままにすると、続いてリファレンス位置の読み込みをします。

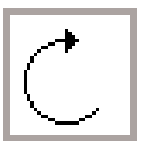
<<サイズの変更>>機能
・ レイアウト 1 画面に表示されます。
・ デザインのサイズを縮小するには、左側、拡大するには右側のボタンをタッチします。
・ ボタンの中央に、元のサイズに対しての割合がパーセントで表示されます。
・ 中央部のボタンをタッチすると、元の100%のサイズに戻ります。

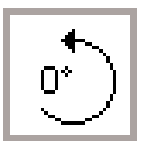
<<表示>>ボタン
・ レイアウト 1 およびレイアウト 2 画面に表示されます。サイズ等の変更後、画面に新しい刺しゅう枠サイズが表示されます。
・ <<表示>>ボタンをタッチします。
・ 変更後のデザインが画面に表示されます。
・ その間、砂時計マークが表示されます。

砂時計マーク
・ デザインの変更後、ステッチの配列を新しく計算し直しているときに表示されます。
・ 計算時間は、デザインにより、1～10分かかりますが、その間、他の操作はできません。



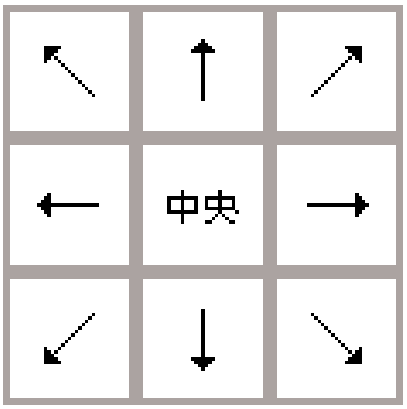
<<デザイン左右反転>>機能
・ レイアウト 1 画面に表示されます。
・ ボタンをタッチします。
・ デザインが反転した状態で、刺しゅうできます。（デザインの左右が反転します）



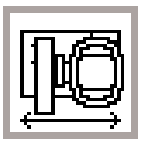


<<デザイン回転>>機能
・ レイアウト 1 画面に表示されます。
・ 左側のボタンは、タッチの度に時計方向に5° 回転します。
・ 右側のボタンは、タッチする度に反時計方向に5° 回転します。
・ 回転角度は右側のボタン内に表示されます。
・ 72のポジショニングが可能です。
・ デザインの右下部にカギカッコが表示され、デザインのオリジナルの位置を示します。

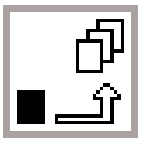
<<ok>>確認ボタン
・ レイアウト操作の確認時にボタンをタッチします。
・ 標準の刺しゅう画面に切り替わります。
・ デザインの変更を計算している間、砂時計マークが表示されます。



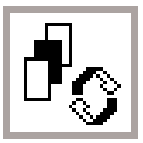
<<移動>>機能
- レイアウト 1 画面に表示されます。
- いずれの矢印の方向にもデザインを刺しゅう枠内で移動できます。
- 矢印にタッチすると、デザインがその矢印の示す方向に移動します。
- 元の位置に戻すには、**<<中央>>ボタン**をタッチします。



刺しゅう枠の位置を変更する
- 刺しゅう画面に表示されます。
- 刺しゅう枠の近くに針があるときに糸を交換する必要がある場合には、このボタンをタッチすると、刺しゅう枠がセンターに向かって移動します。
- ボタンは濃いグレーに変わります。
- 針に新しい糸を通します。
- ボタンをタッチすると、刺しゅう枠は元の場所に戻ります。また、手元返し縫いボタンを押してミシンを再スタートさせても、刺しゅう枠を元の場所に戻すことができます。
- 中断したところからまた刺しゅうを開始します。



<<貼付け>>機能
- レイアウト 1 画面に表示されます。
- デザインの組合せを行なっている間、デザインを一時的にクリップボードに保存します。
- ボタンは明るいグレーに変わります。
- デザインを画面に戻して、他のデザインと組み合わせることができます。



<<呼び出し>>機能
- レイアウト 1 画面に表示されます。
- デザインと組み合されたデザインとを行ったりきたりできます。
- 今現在使用中のデザインは黒で表示されます。
- プログラムした順番にデザインを選びます。

<<削除>>機能
- レイアウト 1 画面に表示されます。
- 一時的に保存しているデザインを削除します。
- 「訂正機能」でデザインを起動します。
- 「削除」をタッチします。
- デザインは削除され、次の順番のものがハイライト表示されます。

<<ズーム—横方向>>機能
- レイアウト 2 画面に表示されます。
- 左側ボタンをタッチすると、デザインは横方向に縮みます。
- 右側ボタンをタッチすると、拡大します。
- 縮小または拡大の割合は、パーセントで中央に表示されます。
- 中央の<<100%>>ボタンをタッチすれば、元のサイズに戻ります。

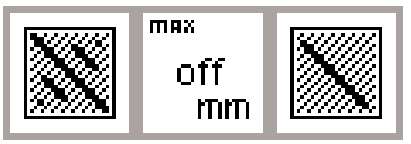
<<ズーム-縦方向>>機能
- レイアウト 2 画面に表示されます。
- 左側ボタンをタッチすると、デザインは縦方向に縮みます。
- 右側ボタンをタッチすると、拡大します。
- 縮小または拡大の割合は、パーセントで中央に表示されます。
- 中央の<<100%>>ボタンをタッチすれば、元のサイズに戻ります。

<<ステッチ密度調整>>機能

- レイアウト2画面に表示されます。
- 左側ボタンをタッチすると、ステッチはより密になります。
- 右側ボタンをタッチすると、目が粗くなります。
- ステッチ数の増減は、パーセントで中央に表示されます。
- 中央の<<100%>>ボタンをタッチすれば、元の設定に戻ります。

<<ステッチの長さ調整>>機能

- レイアウト 2 画面に表示されます。
- 左側ボタンをタッチすると、送り長さは小さくなります。
- 右側ボタンをタッチすると、長くなります。
- 送り長さの増減は、パーセントで中央に表示されます。
- 中央の<<100%>>ボタンをタッチすれば、元の設定に戻ります。
- この機能は、フィルステッチのみ有効です。(アウトラインステッチには、作用しません。)
- 糸の太さを考えて、調整してください。



<<ステッチの分割>>機能

長いステッチを、短い直線縫いに変換することができます。

- レイアウト2画面に表示されます。
- 右側のボタンをタッチすると、ステッチの送り長さは大きくなります。
- 左側のボタンをタッチすると、送り長さが小さくなります。
- 送り長さは、中央のボタンにmm単位で表示されています。
- 中央のボタンをタッチすると、基本セッティングに戻ります。(オフ)

画面上のアイコン(絵記号)

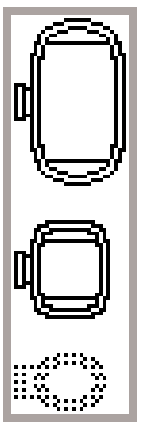
これらの絵記号は刺しゅう画面, レイアウト画面の左端に表示されています。

押え金

刺しゅう用に適した押え金の番号(15 番)を表示しています。

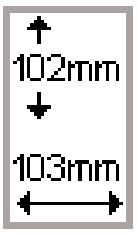
刺しゅう所要時間表示

- 選んだデザインを完成させるのに、必要な実質ソーイング時間を分単位で表示します。
- 完成までの残り時間を、分単位で表示します。



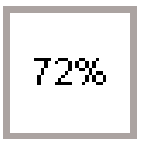
適正刺しゅう枠表示

- 大中小の刺しゅう枠が表示されます。
- デザインに最も適した刺しゅう枠の絵が色濃く強調して表示されます。



デザインサイズの表示

- デザインのサイズ(縦横)がミリ単位で表示されます。



デザインのステッチ数の再計算

- サイズやステッチの密度を変更すると、デザインの最適化のための針数の再計算が始まります。
- <<OK>>ボタンを押すと、画面は前画面に戻ります。
- 砂時計マークが点滅します。
- 進み具合が、パーセントで表示されます。
- 作業を中止するには、《clr》ボタンを長押しします。

メッセージについて

作業中、メッセージが表示されることがあります。選択した機能に対する確認や警告です。刺しゅう機からのメッセージおよび正しい対応の方法を以下に挙げておきます。（コンピューターミシンからのメッセージについては、ミシンのマニュアルをご覧ください）

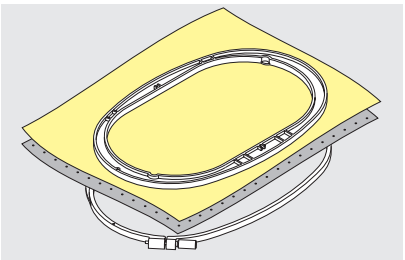
メッセージ	対　　策
「押え金を下げて下さい」	<<戻る>>ボタンをタッチして、前画面に戻します。 押え金を下げて、縫い始めます。
「押え金を上げて下さい」	チェック機能を選択しているときは、押え金は上げておくようにします。 押え金を上げ、<<esc>>ボタンをタッチして前画面に戻します。
「送り歯を下げて下さい」	送り歯を刺しゅう用に下げておきます。 ミシンの電源を入れて最初に刺しゅうパターンを選択するたびに表示されます。 ＜＜戻る＞＞ボタンをタッチして前画面に戻します。
フリーアームシステム 「作業が終了してレイアウト１のチェックボタンを押すまで刺しゅう枠は取り付けないで下さい」	フリーアームアダプターを使用する場合に、選択したステッチが完成するまで、刺しゅう枠の取り付けを待つように表示されます。
「針を一番高い位置にして下さい」	取り付けられた刺しゅう枠のサイズをコンピューターミシンが確認しているときに、針が一番高い位置にない場合に表示されます。 弾み車を使って針を一番高い位置に上げ、<<戻る>>をタッチすると前画面に戻ります。
「大きな刺しゅう枠にして下さい」	デザインと刺しゅう枠のサイズが合いません。 刺しゅう枠を変えるか、デザインのサイズを縮小して下さい。 ＜＜戻る＞＞ボタンをタッチすると、前画面に戻ります。
「このサイズではパターンを完成できません。パターンのサイズを縮小して下さい」	パターンが最大サイズを超えています。 ＜＜戻る＞＞ボタンをタッチすると、前画面に戻ります。 サイズを縮小してから、刺しゅうを続けて下さい。
「この刺しゅう機のバージョンはミシンに合いません。セットアッププログラムでチェックしてください」	コンピューターミシンと刺しゅう機が、セットアッププログラムで表示されたソフトの同じバージョンでなければなりません。 アーティスタコンピューターミシンのマニュアルで、セットアッププログラムを確認して下さい。
「警告・このデザインはまだ保存されていません。この機能を選択するとデザインは削除されます。」	最後に使用したデザインを一時的に保存しないままに、デザインの組合せを中止しようとすると、表示されます。 「はい」または「いいえ」を選択して下さい。前画面に戻ります。
「選択したデザインを組合せは、メモリーの許容量を超えています。」	あまりにもたくさんのデザインが組み合わされている場合に表示されます。 ＜＜戻る＞＞ボタンをタッチして、前画面に戻します。 デザインをいくつか削除してから、編集を続けます。
「このデザインの拡大は、メモリーの許容量を超えています。」	サイズを小さくしてください。
「この組合せにはメモリーが足りません。最後のデザインが保存されません。」	このパターンの組合せを保存するには、メモリーが不足しています。最後の方に保存しようとしているデザインは保存できません。
「刺しゅうが完了しました。」	・ デザインが完成しました。刺しゅう機から刺しゅう枠を外して下さい。 ・ <<戻る>>ボタンをタッチして、前画面に戻して下さい。

メッセージ	対策
刺しゅうカードの取り出し中にエラーが発生しました。データが消えた可能性があります。	・ 砂時計が点滅している間はカードを取り出さないように。 ・ このメッセージの後でカードのデータを読み出せない場合は、データが消滅しています。
「パーソナルデザインカードが一杯です。または書き込み防止のついたデザインカードが挿入されています。」	・ 刺しゅう機に挿入されたカードに保存できない場合に表示されます。またカードの挿入方法が正しくない場合にも表示されます。 ・ 正しいパーソナルデザインカードを挿入し、<<戻る>>ボタンをタッチして前画面に戻します。 ・ もう一度「保存」をタッチして、作業を続けます。
「ベルニナのパーソナルデザインカードを入れてください。」	・ 保存が実行されましたがメモリーカードが刺しゅう機にセットされていない場合に表示されます ・ 正しいパーソナルデザインカードを挿入し、<<戻る>>ボタンをタッチして前画面に戻します。 ・ もう一度「保存」をタッチして、作業を続けます。
「この文字列は刺しゅう枠に入りません。サイズを縮小するか、パターンの向きを変えてください。」	・ 文字列が大きすぎて、刺しゅう枠に入りません。 ・ 文字を刺しゅう枠の長い方向に回転させるか、刺しゅう枠に合うまでサイズを縮小して下さい。
20 個以上の文字列は編集できません。	・ 文字の数を減らすか、分割して刺しゅうします。
上糸をチェックしてください。	・ 上糸がなくなっていないか、または切れていないか確認して下さい。 ・ 糸通しをして下さい。作業が終了するまで、ミシンは動きません。 ・ <<戻る>>ボタンをタッチすると、前画面に戻ります。
下糸をチェックしてください。	・ 下糸がなくなっていないか確認して下さい。目安としては、普通のソーイング用糸では残りが 4～6 メートル、繕い縫いようの細い糸なら 6～8 メートル、刺しゅう糸の場合 8～13 メートルが目安です。 ・ 必要ならば、新しく下糸を巻いて装着して下さい。 ・ 作業が終了するまで、ミシンは動きません。 ・ <<戻る>>ボタンをタッチすると、前画面に戻ります。
「下糸巻取り装置がオンになっています。」	・ 下糸巻取り装置がオンになっていないか確認して下さい。その場合、フットコントローラーは動きませんので、ミシンも動きません。 ・ 必要ならば、下糸巻取り装置をオフにして下さい。それまでミシンは動きません。 ・ 注意・ 下糸を巻いているときにもこのメッセージが表示されます。<<戻る>>ボタンを押して、画面をクリアして下さい。
「メモリーの内容を削除してもよろしいですか。」	・ メモリーの内容を消す前に、削除コマンドを確認して下さい。 ・ 削除を続ける場合には、<<OK>>ボタンをタッチして下さい。 ・ 削除を停止する場合には、<<戻る>>ボタンをタッチして下さい。
「デザインのサイズがメモリー容量を超えています。 デザインを移動したりサイズを変えたりしてみてください」	・ デザインのステッチ数が多すぎてメモリー容量を超えています。
「刺しゅう枠が取り付けられていません。」	・ 刺しゅう機に刺しゅう枠を取り付けていない状態で、文字やデザインを選択した場合に表示されます。 ・ <<戻る>>ボタンをタッチして、適切なサイズの刺しゅう枠を取り付けて下さい。 ・ レイアウト 1 画面で、<<チェック>>ボタンをタッチし、刺しゅう機に刺しゅう枠を確認させて下さい。
「メモリーが一杯になっています。デザインの保存には新しいカードを使用するか、メモリー内のデザインを削除して下さい」	・ 刺しゅう機のメモリーが一杯の場合に表示されます。 ・ メモリーに保存されているデザインを削除するか、新しいパーソナルデザインカードを挿入して下さい。
刺しゅう用パソコンソフトからダウンロードされたデザインは、ミシンでサイズ変更することができません。	・ モチーフの編集をパソコンで行った後、ミシンに再度ダウンロードするか、または ・ モチーフをパーソナルデザインカード、または刺しゅう機に保存してから、編集してください。
針が刺しゅう枠からはみ出しています。	・ デザインの中心ボタンを押してください。針が最初に落ちる位置は、デザインの中心でなくてはいけません。その後、選択した方向へ移動することができます。

刺しゅう用安定紙について

刺しゅうは、布地の上で完璧に平らに仕上がらなくては奇麗とはいえません。そのため、特に大きなデザインを刺しゅうしたい、または広い範囲に刺しゅうをしたい時には、安定紙や接着芯を使います。
目的に合わせて、様々な安定紙または接着芯が市販されています。
一枚の布地の上に直接刺しゅうするのは、あまりお薦めできません。布がつれてしまい、刺しゅう枠から外した後で刺しゅうの端が波打ち状態になります。

デニムやインテリア用布等の厚地のものに、比較的小さなデザインを刺しゅうする時は、安定紙なしでもよいでしょう。ただ、そういう場合でも、安定紙を使っての出来栄えはどうか、一応テストしてみることをお薦めします。



破り取れるタイプの安定紙

- 紙のように破り取れるものです。
- 一枚だけでも重ねても使用できます。
- 薄い物から厚手の物まであります。
- しっかりと安定させたい場合には、布の裏にスプレー糊で固定してから、刺しゅう枠にセットします。
- 刺しゅうが完成したら破り取ります。
- 刺しゅうの施された部分の裏には、安定紙が残ります。

適用

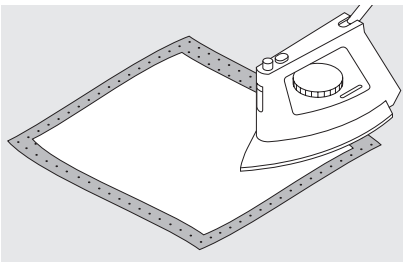
- どんなものにも適しています。

切り取れるタイプの安定紙

- 一枚だけでも重ねても使用できます。
- 薄い物から厚手の物まであります。
- しっかりと安定させたい場合には、布の裏にスプレー糊で固定してから、刺しゅう枠にセットします。
- 刺しゅうが完成したら裏から切り取ります。
- 伸縮性のある生地に使用します。
- 刺しゅうに影響を及ぼすことはありません。
- 刺しゅうのほどこされた部分の裏には、安定紙が残ります。

適用

- どんなものにも適しています。



アイロン接着芯

- 布の裏にアイロンで接着するタイプ。
- いろいろな厚さの物があるので、布地に合わせて選ぶとよい。
- 刺しゅうした後、すぐにはがせる物もある。

適用方法

- 伸縮性に富んだ布 (ジャージー、トリコット等) に適している。

のり付き接着タイプ安定紙を使うには

- 裏紙の面を上にして、刺しゅう枠にセットする。
- 裏紙だけをはがして、安定紙の接着面を出す。
- 布を安定紙に押しつけるようにして、密着させる。

適用方法

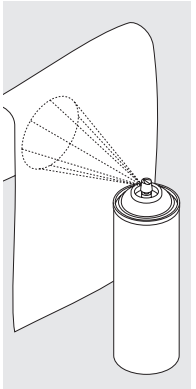
- 布が刺しゅう枠よりも小さいときに適しています。
- ジャージーやシルク等のデリケートな布に適しています。

水溶性安定紙

- 一見ビニールのような外見です。
- 水溶性安定紙は厚地やタオルのようなパイル地に特に便利です。
- 安定紙でパイル地を両面からはさむようにして、3 層を一緒に刺しゅう枠にはめこみます。
- 刺しゅうの後、水につけて十分に溶かします。

適用方法

- 薄地や、オーガンジー等の薄くデリケートな布に適しています。
- タオル地、ベルベット、ブークレーニットに適しています。



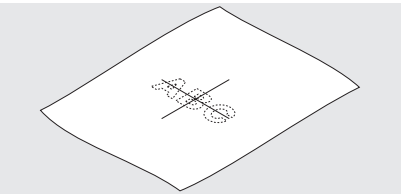
スプレー糊

- やわらかい布にスプレーすると、はりが出て、刺しゅうしやすくなります。
- 刺しゅうしたい部分にスプレーして、乾くまで待つか、アイロンでやさしく押えて乾かします。
- 裏側には、安定紙をおくこと。

適用方法

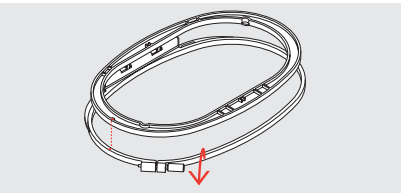
- 薄手のリネン等、あまり目のつんでいない布に適しています。

布を刺しゅう枠にセットするには



デザインの中心

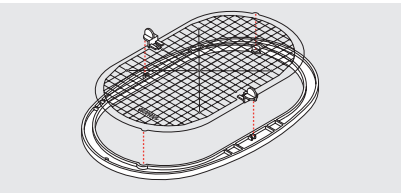
- 使う生地や洋服でデザインの中心を決めます。
- 布用マーカーまたはチャコペンで印をつけます。



刺しゅう枠の内枠を開くには

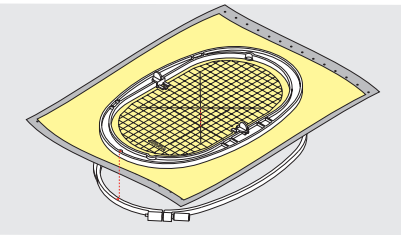
- 必要ならば外枠のネジをゆるめます。
- 内枠を外します。
- 外枠、内枠両方についている矢印は合わせマークです。

大型、中型枠の矢印は中央前方、小型枠では、右側にあります。



刺しゅう用テンプレート

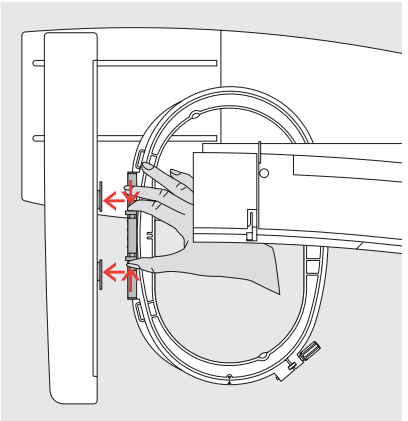
- 各枠に一枚ずつテンプレートが用意されています。
- テンプレート表面には、１ｃｍ角の方眼が描かれています。
- テンプレートの中心および各コーナーには、布にマークがしやすいよう、穴があいています。
- テンプレートは、「BERNINA」の文字が表向きになるように、内枠にセットします。
- テンプレートは、内枠にぴったりはまります。
- はずす時は、テンプレートの穴に指を入れて、取り外します。



布を刺しゅう枠にセットするには

- 布にマークした中心をテンプレートに合わせて、内枠を布の上におきます。
- そのまま、矢印を合わせて外枠の上におきます。
- 布にたるみ等がでないように、内枠をはめこみます。
- 枠はきっちりとかみ合うように。
- 布端をひっぱって、ピンとはるようにして、ネジをしめます。
- テンプレートを外します

刺しゅう枠の取り付け方



針と押え金

- 針と押え金を上げます。
- 布表を上に向けて、
- 押えの下に入れます。

刺しゅう枠の取り付け方

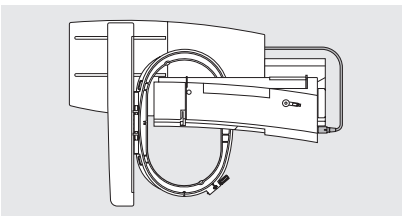
- 刺しゅう枠左側の把手両端にある開放レバーを、つまみます。
- その状態で、コンピューターミシンの刺しゅう用アームについたピン部分の中心と取っ手の中央部分を合わせて、押し込み、
- レバーを離します。

刺しゅう枠の取り外し方

- 取っ手のボタンをつまみます。
- そのまま、持ち上げて外します。

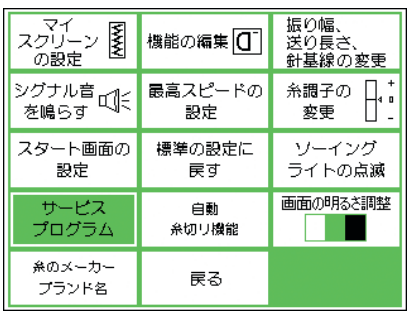
刺しゅう枠の位置調整

刺しゅう機とコンピューターミシンを別々の機会に購入した場合は、初めて刺しゅう枠をコンピューターミシン本体に取り付ける時、コンピューターミシンの針の位置に刺しゅう枠の中心が来るように調整する必要があります。



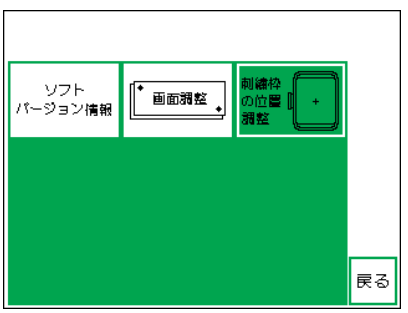
準備

- 刺しゅう機を、フリーアーム用のアダプターなしで直接コンピューターミシンに取り付けます。
- 大型刺しゅう枠を刺しゅう機に取り付け、碁盤の目のテンプレートを刺しゅう枠の中にセットします。

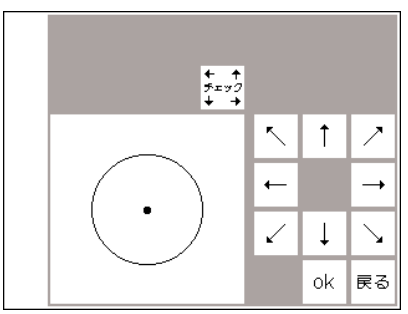


セットアップ画面を開く

- セットアップ外部プッシュボタンを押します。
- セットアップメニューが表示されます。
- <<サービスプログラム>>を選択します。



- 調整画面が表示されます。
- **<<刺しゅう枠の位置調整>>**ボタンをタッチします。

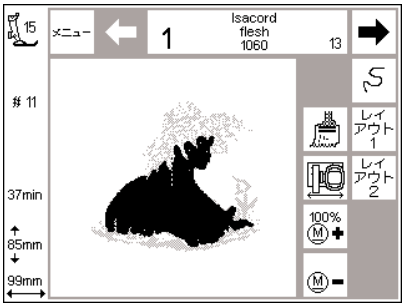


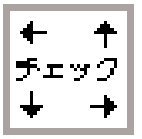
刺しゅう枠の調整方法

- ミシンは刺しゅう枠の輪郭をなぞって、最終的に針を刺しゅう枠の中央に位置するように停止します。
- 針が正確にテンプレートの中央穴に位置しない時は、画面の矢印を使って調整します。
- 位置あわせが終われば、<<ok>>確認ボタンをタッチします。
- 画面は閉じてセットアップメニュー画面に戻ります。
- セットアップメニュー画面を、<<戻る>>ボタンを押して閉じます。
- ≪レイアウト1≫画面の≪チェック≫アイコンをタッチして、刺しゅう範囲を確認します（刺しゅう枠内の刺しゅうの位置が確認されます）

刺しゅう枠の自動サイズ読み取り機能

アーティスタ刺しゅう機では、今現在刺しゅう機に取り付けられている刺しゅう枠のサイズをチェックし、他のサイズの方が適切という場合には教えてくれます。

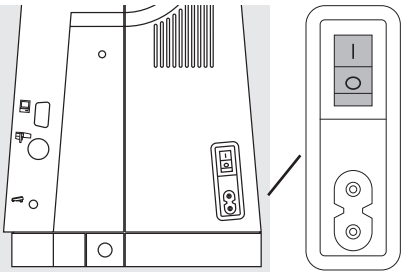




デザインを刺しゅうするには

- 刺しゅう機に刺しゅう枠を取り付けます。
- デザインを選択します。
- 押え金が下がっている場合、「押え金を上げて下さい」のメッセージが表示されます。
- 押え金をあげます。
- 刺しゅう枠が移動し、刺しゅう枠サイズの自動読み取りが開始されます。
- 刺しゅう枠のチェックが終了すると、デザインの輪郭が四角形で登録されます。
- 刺しゅう枠のサイズが適当な場合は、刺しゅうの開始位置に自動的に移動します。
- デザインが刺しゅう枠よりも大きい場合には、メッセージが表示されます。
- 必要ならば刺しゅう枠を変えて、レイアウト画面で<<チェック>>ボタンをタッチして刺しゅう枠のサイズを確認します。
- 刺しゅう枠が開始位置に移動すると、「押え金を下げてください」のメッセージが表示されますので、その通りにして刺しゅうを開始します。

デザイン、文字および数字の刺しゅう

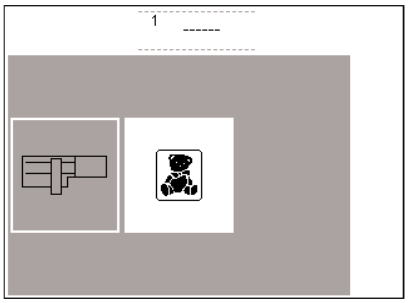


ミシンの準備

- ミシンの電源をオフにします。
- 刺しゅう機をミシンに取り付けます。
- 布の厚さによって、針を選択します。薄手の布には、刺しゅう用針 80 番、ふつうから厚手の布には、刺しゅう用針 90 番の針が適しています。 メタリック糸には１３０Ｎやメタフィル針を使います。
- 上糸には、４０番または５０番のつやのある糸、またはつや消しの糸を使います。
- 下糸には、細めの刺しゅう糸またはダーニング用糸 2 本縫りの 60 番～180 番を使用します。
- ミシンに糸をかけます。
- 刺しゅう枠に布をセットし、刺しゅう機に刺しゅう枠を取り付けます。

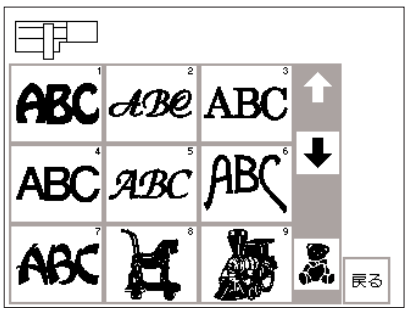
ミシンの電源を入れる

- スイッチをオンにします。



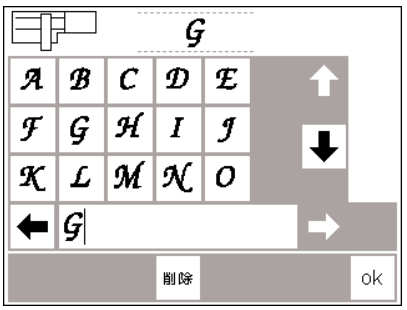
刺しゅうメニュー画面

- 左側の<<刺しゅう機>>ボタンをタッチすると、刺しゅう機に内蔵された刺しゅうのデザインが画面に表示されます。
- <<送り歯を下げて下さい>>のメッセージが表示されたら、送り歯を下げ、<<了解>>ボタンをタッチして閉じます。



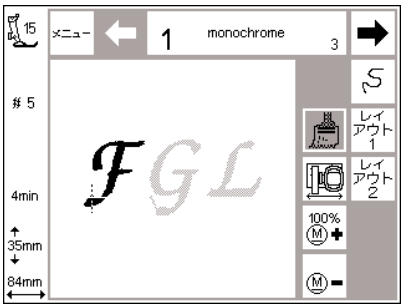
デザインを選択するには

- 刺しゅう機の絵が画面左上に表示され、デザインが起動していることを知らせています。
- 矢印 ⬆ ⬇で、デザインをスクロールできます。
- 文字のあとに表示されるデザインは、文字と組み合わせることができます。
- レタリングのスタイルを選びます。
- 刺しゅうカードがセットされている時は、<<テディベア>>ボタンをタッチして、カード内のデザインを表示することができます。
- メインメニューに戻すには、<<戻る>>ボタンをタッチします。



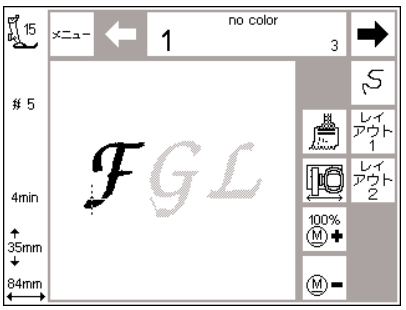
文字

- 選んだ文字が画面に表示されます。
- 矢印でスクロールして、必要な文字等を探す事ができます。
- 文字スタイルを選ぶと、文字編集用のメモリーが自動的に画面に開かれます。
- 文字や数字を入力します。
- 自動的に保存されて、メモリーバー部分に左から順番に表示されます。
- 順次入力します。
- 削除するには、<<**削除**>>ボタンをタッチします。
- 入力が終わると<<ok>>ボタンをタッチします。



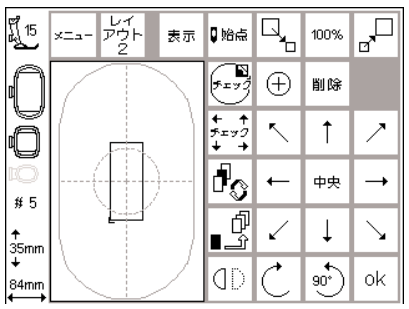
デザインおよび色選択画面

- <<ok>>ボタンをタッチした後、色および刺しゅうの順番を示す画面が表示されます。
- 保存した文字の組合せは、中央に大きく表示されます。(表示は単色)
- 以下の情報が表示されます。
- 押え金の番号(9番)
- 文字番号
- 刺しゅう所要時間
- 仕上がりサイズ
- ＋字カーソルが、各色部分の開始地点を示します。
- この画面から刺しゅうを開始することができます。



多色で文字列を刺しゅうするには

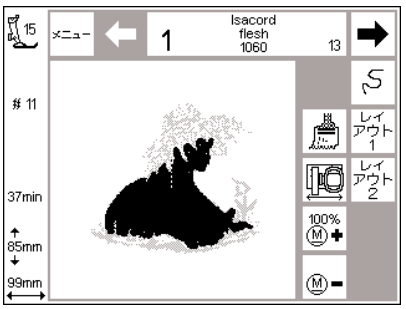
- <<**塗りつぶし**>>機能(ブラシマーク)が黒く表示されていると、文字や数字はすべて単色でデータ保存されます。
- <<**塗りつぶし**>>ボタンをタッチして閉じれば(ボタンは白く表示されます)、ミシンは一文字ごとに停止するので、そのたびに上糸の色を交換することができます。



文字を回転させるには

- 長い文章を刺しゅうしたい場合、刺しゅう枠の幅が足りなくなることがあります。
- その場合、<<**レイアウト1**>>画面で、文章を90° 回転させて、横長から縦長に(「デザインを回転させるには」の 27 ページの項目も参照のこと)して下さい。

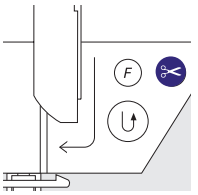
長めの単語だけでなく、文を刺しゅうしたい場合にも有効です。



デザインおよび色の選択

- デザインを選ぶと、色の順番と刺しゅうの順番を表示する画面に移ります。
- 選んだデザインは、常に画面中央部に表示されます。
- 刺しゅう枠は、自動的に縫う順番を追跡します。
- 同時に、以下の情報が表示されます。
  - 押え金の番号(画面左上隅)
  - デザイン番号
  - 所要時間 (画面左端中央部)
    例 ６４ｍｉｎ ＝ ６４分
  - 仕上がりサイズ(画面左端下部)
- 画面右上の左右矢印 ← → をタッチして色順表示画面を開くこともできます。
- 矢印にタッチすると、色順番号が表示され、選んだ色で刺しゅうされる部分が、デザイン中に黒で表示され、他の部分はグレーで表示されます。
- <<┼>>カーソルが、選んだ色のスタート地点を示します。
- 刺しゅうを実際に縫う時は常にこの画面から操作します。

刺しゅうを始めましょう

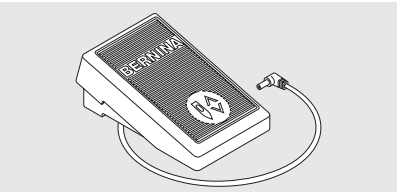


返し縫いボタンを使って刺しゅうを開始する

- 押え金を下げます。
- ミシンの手元についた返し縫いボタンをシグナル音が消えるまで、3秒くらい押します。
- 6針くらい縫うと、ミシンは自動的に停止します。
- 押え金を上げて、糸端を切ります。

自動糸カッター

- 1つの色で刺しゅうし終わると、上下の糸は、自動的にカットされます。下糸は、次の色の刺しゅうをするのに十分な長さを残した状態でカットされます。
- 長いジャンプステッチの場合にも、糸端はカットされます。
- 自動糸カッター機能のオンオフは、セットアップ画面で操作することができます。

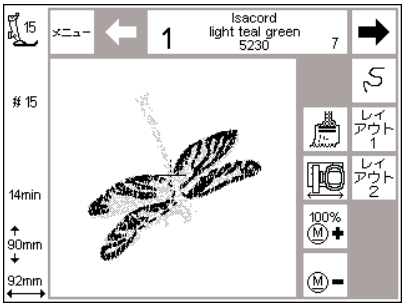


フットコントローラーを使って刺しゅうを開始するには

- 押え金を下げます。
- 糸の交換後、最初に踏み込むと 6 針縫って自動的に止まります。
- 足を離すと、コンピューターミシンは自動的に停止します。
- 押え金を上げ、糸端を切ります。
- 縫い続けるには、フットコントローラーを踏み続けます。

刺しゅうを中断するには

コンピューターミシンが刺しゅうを続けている最中に軽くフットコントローラーを踏み込むと、コンピューターミシンは自動的に停止します。



色部分を完成させるには

- 押え金を下げます。
- フットコントローラーまたは返し縫いボタンを押します。
- 選択した色の部分を刺しゅうし終えると、コンピューターミシンは自動的に停止します。

次の色に移るには

- 一色が終了すると、自動的に次の色を刺しゅうできます。
- 上糸を交換して、同じように作業を続けます。

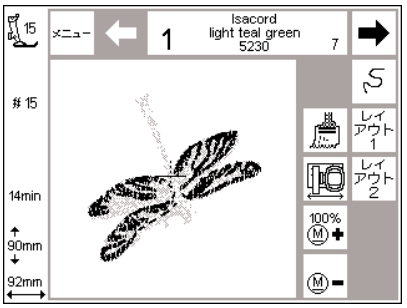
糸端を切るには

- 押え金を上げます。
- 刺しゅうアームから刺しゅう枠を外します。
- 刺しゅう部分を傷つけないように、糸端その他余分の糸を切ります。

デザインと各種機能の組合せ

デザインはすべて、刺しゅう機に内蔵された機能と組み合わせて使用することができます。 刺しゅうの順番の変更、デザインを回転させる、ステッチの数を変更する等、いろいろ試してみるとよいでしょう。

刺しゅう画面



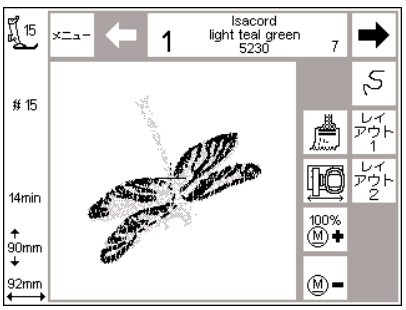
刺しゅう画面では

- デザインを選択すると、刺しゅう画面に色選択および刺しゅうの順番が表示されます。
- 選択したデザインは、画面中央に大きく表示されます。
- 以下の情報が同時に表示されます。
  - 押え番号（15 番）
  - デザイン番号
  - 所要時間
  - 仕上がりサイズ（mm）
- <<**レイアウト**>>ボタンをタッチして、**レイアウト**画面を開くと、デザインと組み合わせて使えるいろいろな機能が表示されます。
- 刺しゅう機メニューに戻るには、<<**メニュー**>>ボタンをタッチします。
- 刺しゅうしようとしている色順が、画面右上枠の左側に大きく表示されています。
- デザインの刺しゅうの順番は、矢印を使って動かせます。
- デザイン全体に使える色数は、画面右上枠の右側に小さく表示されます。
- 今現在縫おうとしている色順の部分が、画面上で黒く表示されます。 その他の部分はグレーで表示されています。
- カーソルは、縫おうとしている色の開始地点を示します。
- 単色で通して刺しゅうしたいときは、<<**ブラシ**>>ボタンをタッチします。
- <<**色順コントロール**>>ボタン🡐 🡒を タッチすると、刺しゅうの順番がコントロールでき、各色順で前または後へ進められます。
- 「刺しゅう枠の位置を変更する」機能を使えば、糸通しが楽にできます。
- 刺しゅうスピードを変えるには《M−》または《M+》ボタンをタッチします。

サイズ変更、反転、回転

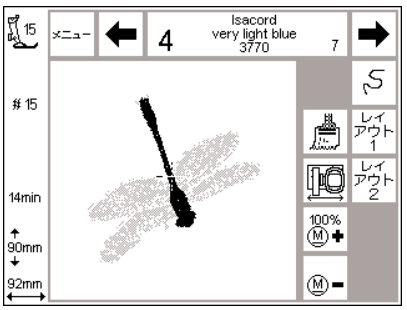
- 刺しゅう画面において、デザインはオリジナルの形でのみ表示され、サイズの変更、反転、回転は表示されません。
- サイズは、ミリ単位で表示されます。
- 今現在の状態を確認したい場合には、<<**レイアウト1又は2**>>画面を開いて下さい。

刺しゅうの色順を変更するには



色順

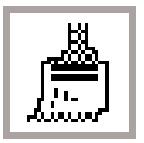
- デザイン上の部分を刺しゅうする順番は、矢印でスクロールできます。
- 必要な色の総数は、右上に小さく表示されています。
- 縫っている色順は、左側に大きく表示されます。
- 今現在縫っている色順の部分は、黒く表示され、他の部分はグレーで表示されます。
- カーソルが、各色の開始地点を示しています。



手動で刺しゅうの順番を決めるには

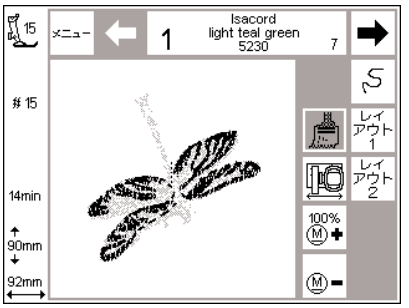
- 例えば4番目の部分というように、矢印でスクロールして、一部分を選択します。
- その部分を刺しゅうし終わると、コンピューターミシンは自動的に停止します。
- 次の部分に移り、刺しゅうする、という手順を繰り返します。
- 色順をさかのぼる場合には、常にその直前の色の最後の部分が表示されます。左側にある大きな番号は、黒からグレーに変わります。
- 例;6番から4番に変更する場合、 3番がグレーで表示されるまで左向きの矢印を押し、それから右向きの矢印を一回押して4番を黒く表示させます。これで4番を最初から刺しゅうすることができます。

単色デザイン



単色刺しゅう

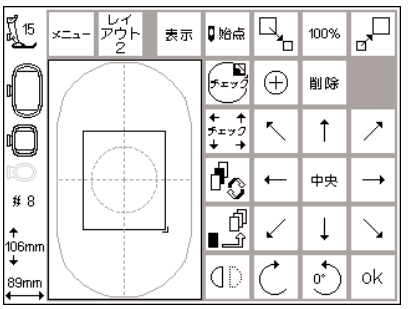
- <<塗りつぶし>>ボタンをタッチすると、単色機能が作動します。



デザインを単色で刺しゅうするには

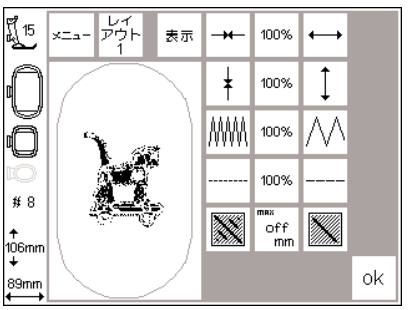
- <<塗りつぶし>>ボタンをタッチすれば、デザインは単色で刺しゅうされます。
- 完成すると、コンピューターミシンは自動的に停止します。

レイアウト1および2画面を使った拡張機能



レイアウト1画面

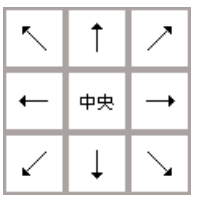
- 刺しゅう画面から、<<**レイアウト**>>ボタンをタッチします。
- デザインの右側に8方向の矢印ボタンが表示されます。
- 画面右上にサイズ変更機能が表示されます。
- 刺しゅう画面に戻すには、<<ok>>ボタンをタッチします。
- 刺しゅうは刺しゅう画面でしか縫えませんのでご注意下さい。

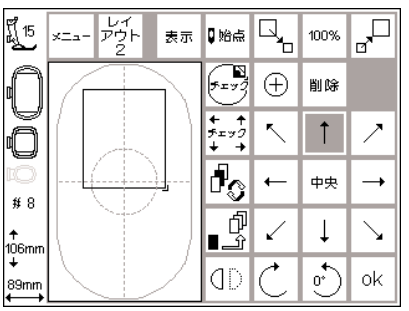


レイアウト2画面

- レイアウト1画面で、<<**レイアウト2**>>ボタンをタッチします。
- レイアウト 2 画面が表われます。
- ステッチボタンの横に、ステッチの数（サテン）および送り長さ、ランステッチの調整およびロングステッチと通常の直線縫いの変換作業ができる画面が表示されます。
- <<**レイアウト1**>>ボタンをタッチすると、レイアウト1画面に戻ります。
- <<ok>>ボタンをタッチすれば、刺しゅう画面に戻ります。
- 刺しゅうは、刺しゅう画面からしかできませんので、ご注意下さい。

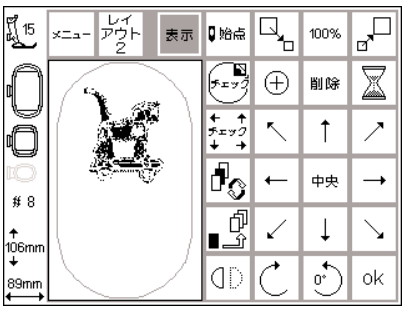
デザインの移動





矢印を使って移動

- 刺しゅう枠の中の範囲で、デザインの位置を自由に移動できます。
- レイアウト1画面を開きます。
- ８方向の矢印を使って、移動します。
- 移動後は、デザインではなく、フレームのみが表示されます。
- <<**中央**>>ボタンをタッチすると、デザインは中央に戻ります。

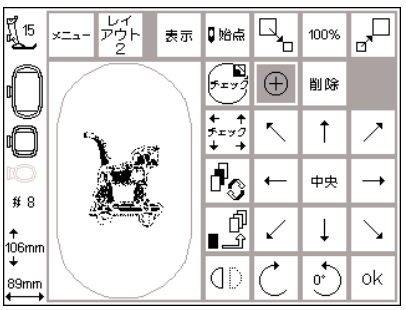


デザインの表示

デザインを移動して枠線のみが表示されるようになった場合でも、絵を画面に再表示することもできます。

- <<表示>>ボタンをタッチします。
- 砂時計が表示され、デザインが起動中であることを示します。
- 砂時計が消えると、デザインが再表示されます。
- <<ok>>ボタンをタッチすれば、刺しゅう画面に戻ります。

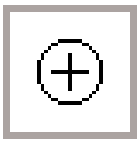
デザインの始点

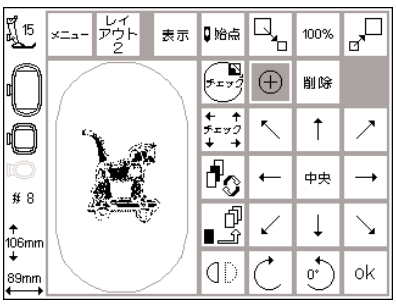


刺しゅうの開始位置および刺しゅう枠位置

- <<レイアウト>>ボタンにタッチしてレイアウト１画面を開きます。
- <<始点>>ボタンをタッチします。
- 刺しゅう枠が動いて、開始点を針に合わせます。
- <<ok>>ボタンをタッチすれば、刺しゅう画面に戻ります。

デザインの中心



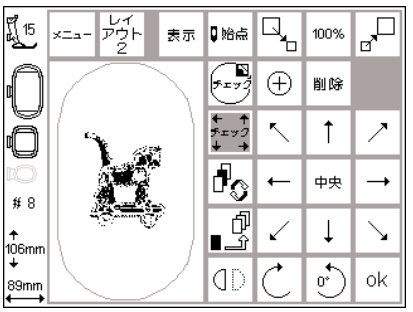


デザインの中心を表示するには

- <<レイアウト>>ボタンをタッチしてレイアウト1画面を開きます。
- <<中央>>ボタンをタッチします。
- デザインの中心が表示されます。
- 刺しゅう枠が動いて、針位置がデザインの中心にくるように停止します。特に布の中央に正確に刺しゅうをしたいとき、この機能を使うと便利です。
- <<ok>>ボタンをタッチすれば、刺しゅうに戻ります。

刺しゅうサイズのチェック

刺しゅう枠およびデザインのサイズ、リファレンス位置をチェックするには



・<<チェック>>には、2種類の機能があります。

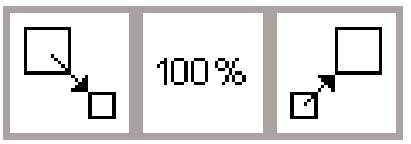
第一の機能

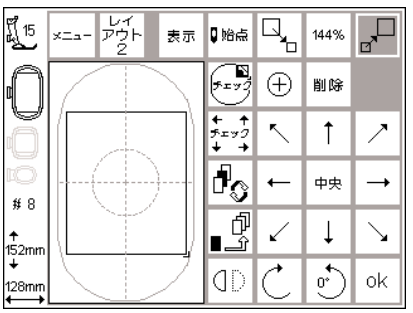
- <<レイアウト>>ボタンをタッチして、レイアウト1画面を開きます。
- <<チェック>>ボタンをタッチします。
- 刺しゅう枠が上下に動き、枠上のサイズ認識部と移動アームのセンサーがかみ合って、刺しゅう枠の登録が行われます。
- 続いて、デザインの輪郭が登録されます。
- 刺しゅう枠とデザインのサイズが適当ならば、刺しゅう枠は開始位置まで移動します。
- 刺しゅう枠よりもデザインのサイズの方が大きい場合には、<<**大きなサイズの刺しゅう枠をご使用下さい**>>のメッセージが表示されます。
- <<ok>>ボタンをタッチすれば、刺しゅう画面に戻ります。

第二の機能

- <<チェック>>ボタンを、少し長めに押します。
- 最初に、リファレンス位置（刺しゅうの開始位置）のチェックが行われ、その後、ポイント1に説明のある作業が続きます。
- 刺しゅう枠のアームの動きが妨害された等で、刺しゅう枠の位置が狂ってしまった場合に使います。

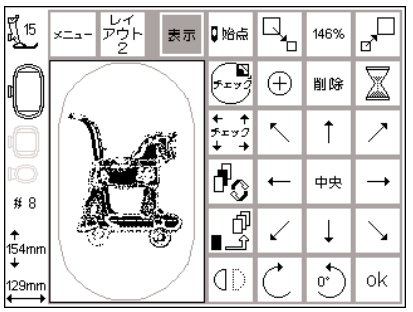
デザインのサイズの拡大と縮小（ズーム機能）





デザインのサイズを変更するには

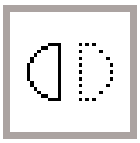
- <<レイアウト>>ボタンをタッチしてレイアウト1画面を開きます。
- 3つ並んだ左端のボタンをタッチすれば、デザインのサイズを縮小できます。
- 右端ボタンをタッチすれば、拡大できます。
- 中央のボタンには、拡大縮小それぞれの割合がパーセンテージで表示されます。 元のサイズ（100%）に戻すには、この中央のボタンをタッチして下さい。
- 拡大縮小後は、デザインは枠線のみで表示されます。
- サイズの変更は、コンピューターミシンの電源をオフにするまで有効です。
- 電源をオフにした後、再度オンにすると、デザインは元の100%サイズに戻っています。

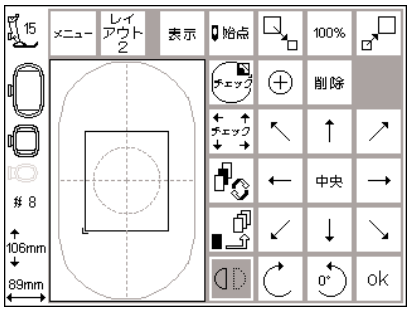


拡大縮小後のデザインを再表示するには

- サイズの調整後でも、枠線のみでなくデザインを表示することができます。
- <<表示>>ボタンをタッチします。
- 砂時計が表示され、デザインが起動中であることを示します。
- 砂時計が消えると、デザインが再表示されます。
- <<ok>>ボタンをタッチすれば、刺しゅう画面に戻ります。
- デザインのサイズが、最適な針目で縫えるように再計算されます。
- 再計算中は、画面左端に所要時間のかわりに、進み具合がパーセンテージで表示されます。

デザインを左右に反転させる

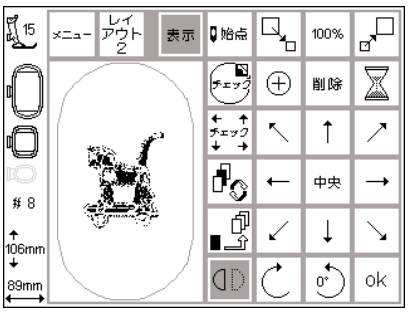




左右に反転するには

- <<**レイアウト**>>ボタンをタッチして、レイアウト1画面を開きます。
- <<**デザイン反転機能**>>ボタンをタッチします。
- デザインが反転します。（このまま刺しゅうすれば、反転した状態で仕上がります）

- 反転機能を使うと、デザインは枠線のみの表示となります。
- 枠線の右下にあるコーナーマークは、反転後、左下に移ります。
- 次に新しいデザインを選択するまで、反転機能は継続します。
- 反転と次項の「回転機能」を併用すれば、とても楽しい組合せができます。

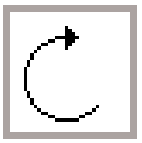


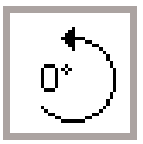
反転後のデザインを再表示するには

- 反転後でも、枠線のみでなくデザインを表示することができます。
- <<**表示**>>ボタンをタッチします。
- 砂時計が表示され、デザインが起動中であることを示します。
- 砂時計が消えると、デザインが再表示されます。

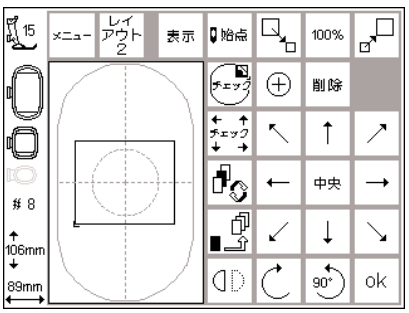
- <<**ok**>>ボタンをタッチすれば、刺しゅう画面に戻ります。
- 刺しゅう画面には、デザインは反転処理前の向きで表示されます。
- デザインのサイズが、最適な針目で縫えるように再計算されます。
- 再計算中は、画面左端に所要時間のかわりに、進み具合がパーセンテージで表示されます。

デザインを回転させる





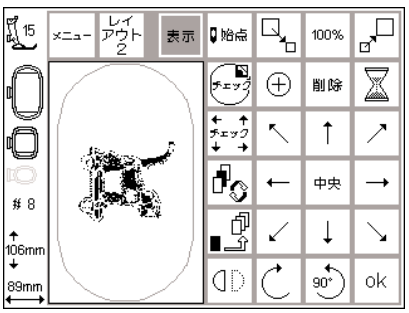
注意；
回転や反転などの作業中にデザインを表示するには、作業中のデザインを一時的に貼付けをして仮のメモリーに保存します。



デザインを回転させるには

- <<**レイアウト**>>ボタンにタッチしてレイアウト1画面を開きます。
- **左側の**<<**回転**>>ボタンをタッチします。
- デザインは、時計回りに 5° づつ回転します。
- 右側のボタンをタッチすればデザインは反時計周りに回転します。
- 前述の反転機能と組み合わせてみるとよいでしょう。

- 回転させたデザインは、枠線のみの表示となります。
- 次に新しいデザインを選択するまで、回転機能は継続します。
- デザインが大きすぎて刺しゅう枠の中で回転させるのが難しい場合には、まずサイズを縮小してから回転し、それから元のサイズに戻します。



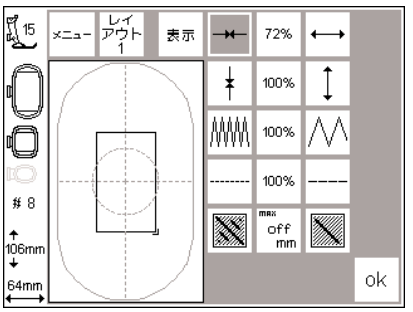
回転後のデザインを再表示するには

- 回転後でも、枠線のみでなくデザインを表示できます。
- <<**表示**>>ボタンをタッチします。
- 砂時計が表示され、デザインが起動中である事を示します。
- 砂時計が消えると、デザインが再表示されます。

- <<**ok**>>ボタンをタッチすれば、刺しゅう画面に戻ります。
- 刺しゅう画面には、デザインは回転処理前の状態で表示されます。
- デザインのサイズが、最適な針目で縫えるように再計算されます。
- 再計算中は、画面左端に所要時間のかわりに、進み具合がパーセンテージで表示されます。

横方向と縦方向へのサイズ調整

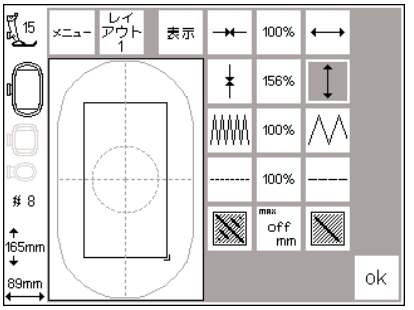
横方向のサイズ変更



横方向へデザインのサイズを変更するには

- <<レイアウト 2>>ボタンをタッチしてレイアウト2画面を開きます。
- 3つ並んだ左端のボタンをタッチすれば、デザインのサイズを縮小できます。
- 右端のボタンをタッチすれば、拡大できます。
- 中央のボタンには、拡大縮小それぞれの割合がパーセンテージで表示され、元に戻すには、この中央のボタンをタッチして下さい。
- 拡大縮小後は、デザインは枠線のみで表示されます。
- 中央のボタンをタッチすると、デザインは元のサイズ（100%）に戻ります。

縦方向へのサイズ変更



縦方向へのデザインのサイズを変更するには

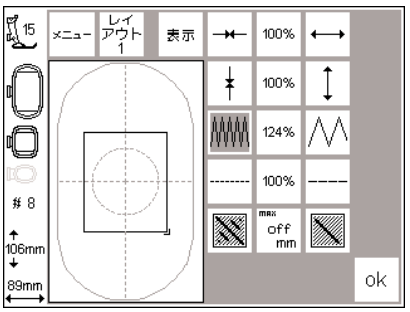
- <<レイアウト 2>>ボタンをタッチしてレイアウト2画面を開きます。
- 3つ並んだボタンの左端をタッチすれば、デザインの縦方向のサイズを縮小できます。
- 右端のボタンをタッチすれば、拡大できます。
- 中央のボタンには、拡大縮小それぞれの割合がパーセンテージで表示され、元に戻すには、この中央のボタンをタッチして下さい。
- 拡大縮小後は、デザインは枠線のみで表示されます。
- 中央のボタンをタッチすると、モチーフは元のサイズ（100%）に戻ります。

注意・サイズの調整はあくまでデザインの元の形状に対して行なわれますので、デザインをすでに九十度回転してある場合には、縦横が反対になったようになります。

拡大縮小後のデザインを再表示するには

- サイズの調整後でも、枠線のみでなくデザインを表示することができます。
- <<表示>>ボタンをタッチします。
- 砂時計が表示され、デザインが起動中であることを示します。
- 砂時計が消えると、デザインが再表示されます。
- <<ok>>ボタンをタッチすれば、刺しゅう画面に戻ります。
- デザインのサイズが、最適な針目で縫えるように再計算されます。
- 再計算中は、画面左端に所要時間のかわりに、進み具合がパーセンテージで表示されます。
- 刺しゅう画面には、デザインは 100%の元のサイズで表示されます。

ステッチの数の調整



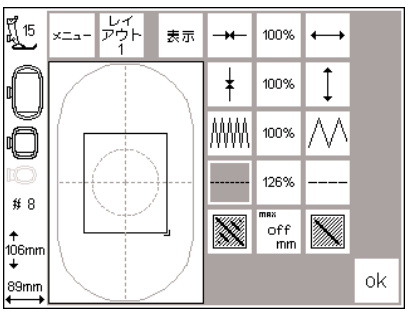
非常に太い、または細い糸を使用する際のステッチ数の調整方法

- <<**レイアウト2**>>ボタンをタッチしてレイアウト2画面を開きます。
- 3つ並んだボタンの左端をタッチすれば、ステッチの数は増えます。
- 右端のボタンをタッチすれば、ステッチの数は減ります。
- 中央のボタンには、増減の割合がパーセンテージで表示され、元に戻すには、この中央のボタンをタッチします。
- 調整後は、デザインは枠線のみで表示されます。
- 調整は、コンピューターミシンの電源をオフにするまで有効です。

調整後のデザインを再表示するには

- 調整後でも、枠線のみでなくデザインを表示することができます。
- <<**表示**>>ボタンをタッチします。
- 砂時計が表示され、デザインが起動中であることを示します。
- 砂時計が消えると、デザインが再表示されます。
- <<ok>>ボタンをタッチすれば、刺しゅう画面に戻ります。
- デザインのサイズが、最適な針目で縫えるように再計算されます。
- 再計算中は、画面左端に所要時間のかわりに、進み具合がパーセンテージで表示されます。
- 刺しゅう画面には、デザインは100%の元のサイズで表示されます。

ステッチの長さの調整



非常に太いまたは細い糸を使用する際のステッチ長さの調整方法

- <<**レイアウト2**>>ボタンをタッチしてレイアウト2画面を開きます。
- 3つ並んだボタンの左端をタッチすれば、長さは短くなります。
- 右端のボタンをタッチすれば、長くなります。
- 中央のボタンには、調整の割合がパーセンテージで表示され、元に戻すには、この中央のボタンをタッチします。
- 調整後は、デザインは枠線のみで表示されます。
- 調整されたデザインは、コンピューターミシンの電源をオフにするまで有効です。

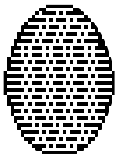
調整後のデザインを再表示するには

- 調整後でも、枠線のみでなくデザインを表示できます。
- <<**表示**>>ボタンをタッチします。
- 砂時計が表示され、デザインが処理中であることを示します。
- 砂時計が消えると、デザインが再表示されます。
- <<ok>>ボタンをタッチすれば、刺しゅう画面に戻ります。
- デザインのサイズが、最適な針目で縫えるように再計算されます。
- 再計算中は、画面左端に所要時間のかわりに、進み具合がパーセンテージで表示されます。
- 刺しゅう画面には、デザインは100%の元のサイズで表示されます。

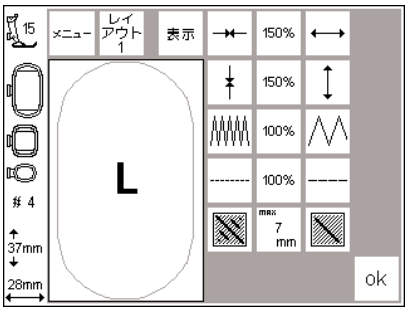
刺しゅうステッチを変えてみる（ステッチの分割）

刺しゅうデザインは長短織り交ぜたステッチで埋め込まれてゆきます

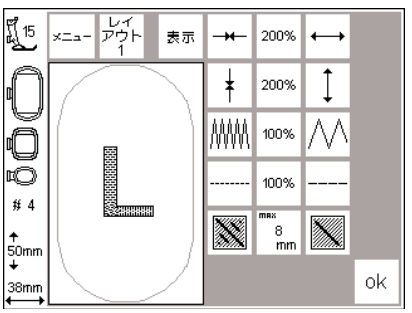
サテンステッチ
模様の端から端までをロングステッチで埋め込んで縫います。



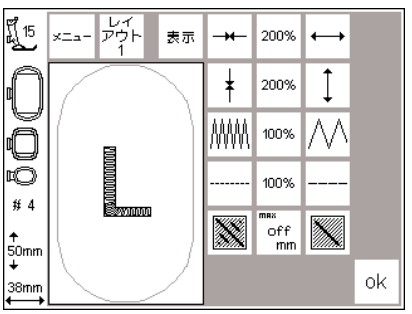
たたみステッチ
短いステッチで畳の目のように埋め込んでゆきます。



サテンステッチをたたみステッチに変えるには
- レイアウト 2 の画面を開きます
- 左か右のボタンをタッチします
- サテンステッチがたたみステッチに変換されました。最大長さは 7 ミリです。



たたみステッチで埋め込むには
- 右のボタンをタッチします
- たたみステッチのステッチが長くなりました
- 左側のボタンをタッチします
- たたみステッチのステッチが短くなりした
- 中央のボタンにステッチの長さがｍｍで表示されます。

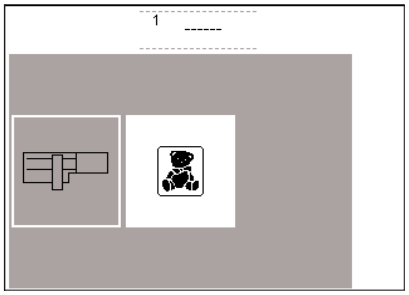


サテンステッチで埋め込むには
- 中央のボタンをタッチします
- 標準にリセットされました。デザインはサテンステッチで埋め込まれます。

適応
– 文字などに最適です

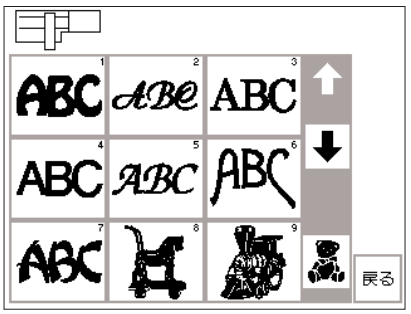
文字とデザインの組合せ

アーティスタ刺しゅう機を使えば、デザインを組み合わせてまったく新しいデザインを作成することができます。デザインはまた文字と組み合わせることも可能です。ロゴや紋章、バッジなど、パソコンを使わないで作ってみましょう。



刺しゅうする文字を選択する

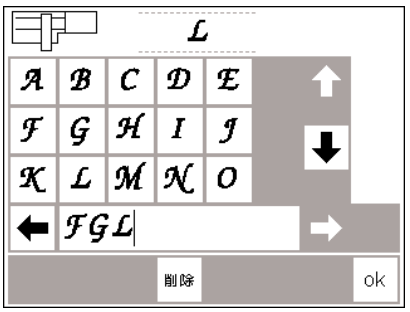
- 刺しゅう機のボタンをタッチします。
- <<戻る>>ボタンをタッチして、「送り歯を下げて下さい」のメッセージを消します。



- メニュー画面が表示されます。
- 好きなタイプの文字を選んで下さい。

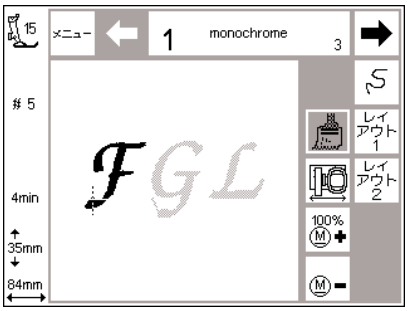
ヒント:

- 大文字と小文字の配列をきれいにするには貼り付け機能を使いましょう.
- 大文字を選んで貼り付けます。
- 小文字を選んで貼り付けます。
- <<ok>>ボタンをタッチして文字を組み合わせます。

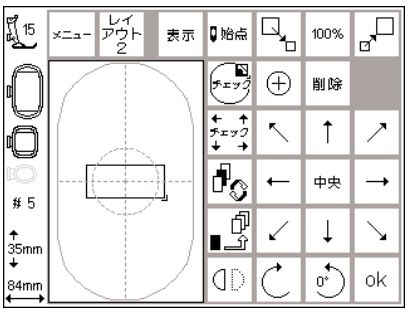


- 文字画面が表示されます。
- 好きなように文字をプログラムします。
- 画面下のメモリーバーに色順が表示されます。
- 画面上に表示されている文字は、最後に選択した文字です。
- <<ok>>をタッチして確認します。
- 刺しゅう画面が表示されます。

- 砂時計マークが点滅して、デザイン中であることを示します。



- 文字が画面に表示されます。刺しゅう枠は刺しゅうの開始地点まで移動します。
- レイアウト 1 画面に行くには、<<レイアウト>>ボタンをタッチして下さい。

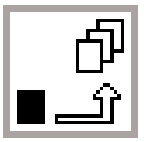


文字列は画面上では輪郭線で表示されます。

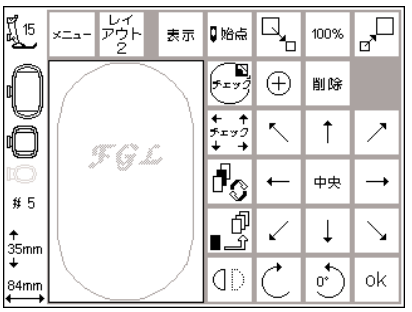
矢印を使って、好きな場所に移動させます。

拡大縮小、回転または反転等、他に変更したいことがあれば、ここでします。輪郭線は、変更に合わせて変形します。

- デザインを表示するには、<<表示>>ボタンをタッチします。
- レイアウト作業は、文字の状態で見るよりも輪郭線の方がより正確にわかります。



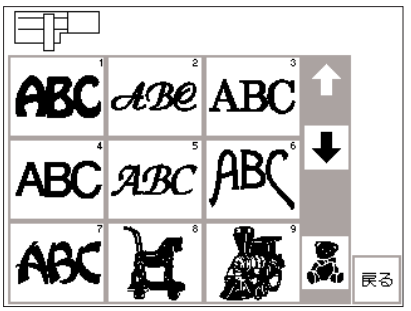
貼り付け機能



- <<貼り付け機能>>ボタンをタッチすると、砂時計が点滅します。
- 文字列が一時的に保存されます。
- デザインはアクティブでない状態となり、画面上に薄いグレーで表示されます。
- メニューボタンをタッチします。
- <<貼り付け機能>>の中のものを削除したいときには、外にある「クリア」ボタンを押して下さい。
- 最後に保存したいデザインは、保存されていない状態に戻ります。

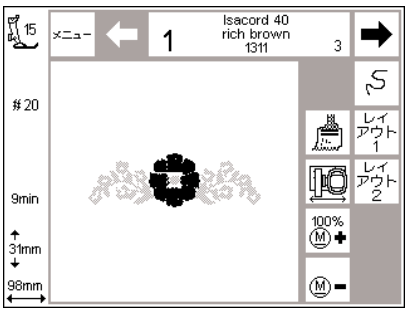
注意・ 刺しゅう機のメモリーまたはメモリーカードに保存する前にコンピューターミシンの電源を切ってしまうと、デザインは消えてしまいます。

重要：<<貼り付け機能>>にデザインを保存するには、一回矢印を使って画面中央から移動する必要があります。そうしないと、他のデザインを重ねることができません。

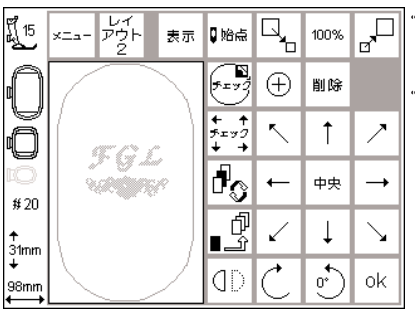


メニュー画面

- 矢印を使って、好きなデザインを選択します。



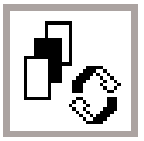
- コンピューターミシンがデザインを取り込み、画面にデザインがカラーで表示されます。
- 刺しゅう枠は、自動的に刺しゅう開始地点に移動します。
- レイアウト 1 画面に行くには、<<レイアウト>>ボタンをタッチして下さい。



新しいデザインは、画面に輪郭線で表示されます。

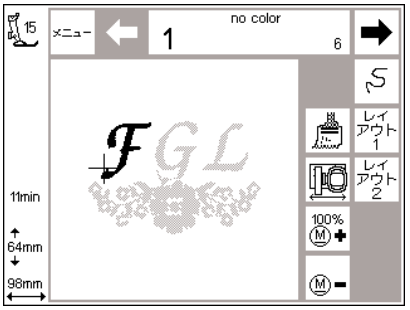
<<表示>>ボタンをタッチしてから、「貼り付け機能」ボタンをタッチすると、実際のデザインが画面で確認できます。（選択されていないグレーの状態で表示されます。）

注意・ 画面サイズのため、デザインの位置を確認するには、輪郭線の方がより正確にわかります。

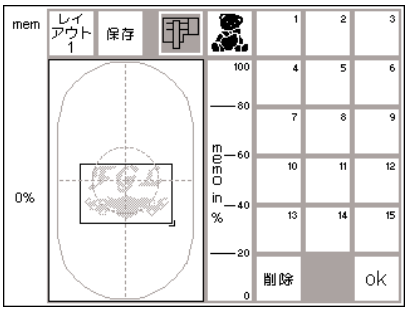


組み合わせたデザインの中で入れ替えるには

- 一時的な保存ボタンをタッチします。
- スイッチボタンをタッチして、デザインの組合せを選択します。
- 選択された部分は黒く表示され、矢印を使って好きなところに移動できます。
- 必要ならば、サイズの方向や回転、反転等の変更を加えます。
- 変化は、長方形で表示されます。
- 選択したデザインを削除するには、
- 「削除」ボタンをタッチします。「貼り付け機能」から次のデザインが、自動的に取り出されて表示されます。
- デザインをもっと加えたい場合には、前のステップを繰り返します。
- デザインの組合せが完成したら、<<ok>>をタッチします。
- 刺しゅう画面が表示されて、デザインはプログラムされた順番に処理されます。



- 組み合わせたデザインが画面に表示されます。
- 保存しないでそのまま縫う場合には、スタートボタンを押して刺しゅうを開始して下さい。
- 文字をすべて一色で刺しゅうしたい場合には、<<ブラシ>>ボタンをタッチして下さい。ボタンはグレーで表示され、色の変更のために停止することなく縫い進めます。
- 最後の文字を刺しゅうしているときに、<<ブラシ>>ボタンの機能を解除します。ボタンは再び明るく表示され、コンピューターミシンは最後の一文字を刺しゅうすると停止します。残りのデザインは、色を変えて刺しゅうすることができます。

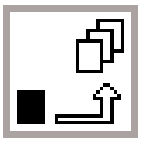


デザインの組合せを保存するには

パネル上の《mem》ボタンを押します。
刺しゅう機の機能がオンになっている場合には、デザインを刺しゅう機に保存することができます。
挿入したメモリーカードを使う場合には、メモリーカードの機能をオンにして下さい。
《mem》ボタンを押した後にメモリーカードを挿入した場合には、カード機能は自動的にオンになります。
「保存」ボタンをタッチします。
デザインの組合せは、刺しゅう機またはカード内に保存されます。

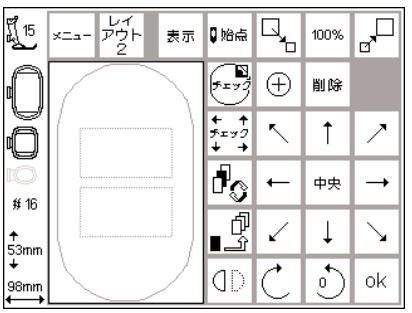
デザインを保存するときには、保存する場所を示すボタンおよび「削除」と<<ok>>ボタンの間に表示された砂時計の両方が点滅します。
保存されたデザインの組合せは、一つの新しいデザインとなります。デザインを変更したい場合には、全体まとめて変更することになります。
レイアウト画面では、デザインの組合せは長方形で表示されます。
刺しゅう画面を表示するには、<<ok>>ボタンをタッチします。
刺しゅうは、プログラムされた順番に色別に進んでいきます。

複製するには



一時的にデータを保存する

同じデザインのバリエーションを組み合わせたい場合には、**<<データの一時保存>>**機能を使えば簡単かつ迅速に新しいデザインを作成することができます。
メニューから好きなデザインを一回選択するだけで、あとは保存してあるデータを複製すればよいのです。

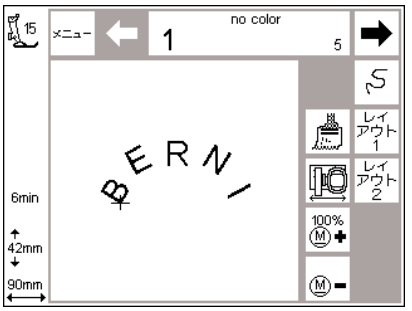


24～31 ページに記載の方法で、好きなデザインを選択し、レイアウト 1 画面に進みます。
デザインは長方形で表示されます。
<<表示>>ボタンをタッチして、デザインを再表示します。注意・デザインの位置を決定するには、長方形の方がより正確です。
<<貼り付け機能>>をタッチします。
長方形の選択が解除されて、グレーで表示されます。

- 長方形が選択されていない状態になったら、矢印を使って移します。
- 複製された長方形が、新しい位置に移動し、元の長方形はそのまま残ります。<<貼り付け機能>>をタッチします。
- これを何回か繰り返すと、そのたびに長方形が増えていきます。
- 複製を完了したら、好きなように編集および位置の決定をします。方法は、30～34 ページを参照して下さい。

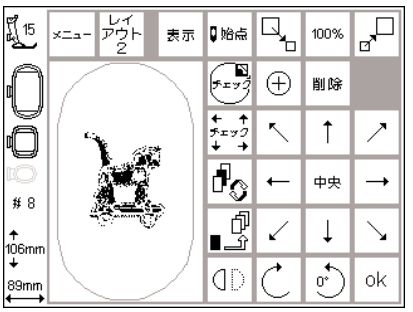
レタリングをアーチ型にアレンジするには

編集機能の「回転」を使って、レタリングをアーチ型に配置することができます。



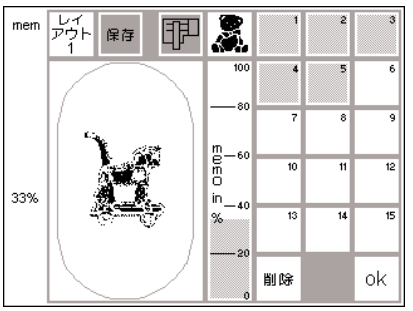
- 24ページから32ページに記載の方法で、文字を一文字ずつ選択します。
- レイアウト1画面に進みます。
- デザインは長方形で表示されます。
- 一文字ずつ選択して、移動、回転を加えます。例・B=300°、E=330°、R=0°、N=30°、I=60°等です。各文字を配置した後、「一時的な保存」を押すようにします。
- アーチ型が完成したら、<<ok>>をタッチします。
- 刺しゅう画面が表示されます。
- デザインはプログラムした順番に処理されます。
- デザインを保存するには、34～35ページに記載の方法に従って下さい。

デザインを刺しゅう機に保存するには



レイアウト1画面

- 保存したいデザインを起動します。
- レイアウト1画面を開きます。
- 「保存」ボタンをタッチします。

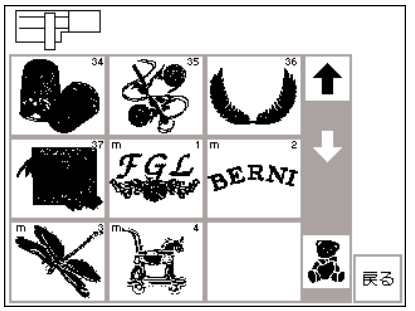


メモリー画面

- メモリー画面が表示されます。
- 刺しゅう機の機能を起動します。
- 「保存」をタッチします。
- デザインは自動的に保存されます。

ご注意

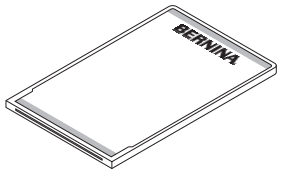
サイズやステッチの数等に変更を加えた上で保存したデザインは、新しいデザインとなりますので、再度選択した場合には、コンピューターミシンはそのサイズをもともとのサイズとして認識します。保存後に、変更前の状態に戻ることはありません。



刺しゅう機のメモリーに保存したデザインを呼び出すには

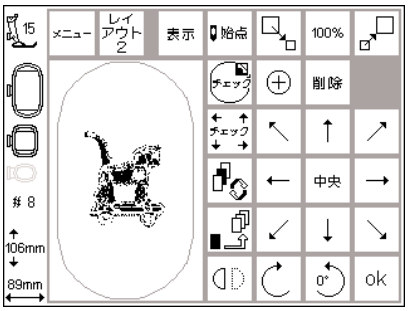
- 新しく保存されるデザインはメモリーの最後に自動的に追加されます。
- 最後に保存したデザインを探すにはメモリーの最後までスクロールして見つけます。
- 画面の各ウインドウの左隅上に表示された小さな<<m>>の記号は、このデザインが刺しゅう機のメモリーから呼び出されたものであることを示します。

メモリーカード（別売りオプション）にデザインを保存する

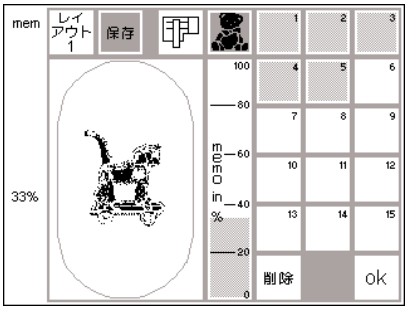


パーソナルデザインカード（ブランク）
- お近くのベルニナ正規販売代理店でお求めください。
- デザインや文字、数字、組み合わせたデザイン等はこのカードに保存します。

１枚につき、デザイン、文字あるいはその組合せが15種類まで保存できます。（デザインのサイズにより異なる）



レイアウト１画面
- 保存したいデザインを選択します。
- <<レイアウト>>ボタンをタッチしてレイアウト１画面を開きます。
- パネル上の<<mem>>ボタンを押します。

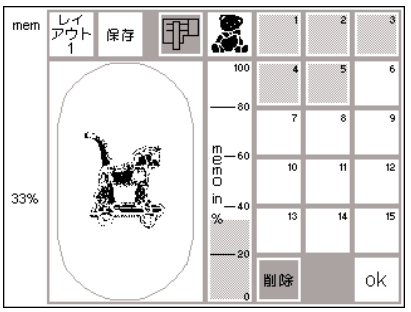


メモリー画面
- 画面がメモリー画面に移ります。
- メモリーカードを刺しゅう機に挿入すると、カード機能が起動します。
- <<保存>>ボタンをタッチします。
- 自動的にカードの中の空いた部分にデータを保存できます。

ご注意
砂時計が点滅している間にカードを取り出すことは絶対にしないで下さい。保存が妨害されて、データが消滅してしまう恐れがあります。

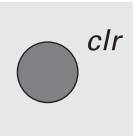
ご注意
サイズやステッチの数等に変更を加えた上で保存したデザインは、新しいデザインとなりますので、再度選択した場合には、コンピューターミシンはそのサイズをもともとのサイズとして認識します。保存後に、変更前の状態に戻ることはありません。

メモリーの削除



メモリー画面
- 刺しゅう機またはカードのメモリーに余白を作るため、データを削除することができます。
- 例えば、メモリー2を選択します。
- <<削除>>ボタンをタッチします。
- 本当にデータを削除してもよいかをたずねるメッセージが表示されます。
- 「はい」をタッチします。
- メモリー2に保存されていたデータの削除ができると同時に、メモリー3に何かデータが保存されていれば、自動的にメモリー2に繰り上がります。
- 画面中央部、デザインの上部分に、現在使用中のメモリー使用量がパーセンテージで表示されています。

メモリーカード内のすべてのデータを削除する

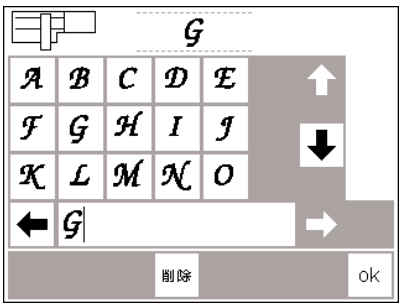


メモリー画面

- メモリー画面を開きます。
- 刺しゅう機またはカードの内、どちらかの機能がオンになっている必要があります。
- <<クリア>>プッシュボタンを押します。

- データ部分全体が点滅したら、<<削除>>ボタンをタッチします。
- 削除が完了しました。

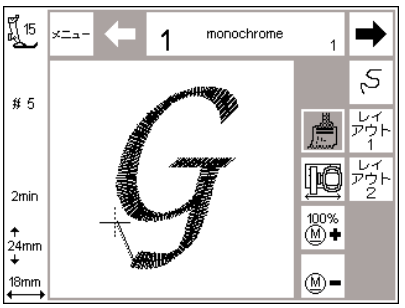
フリーアーム刺しゅう



準備

- コンピューターミシンと刺しゅう機の間にアダプターをセットします。
- 刺しゅう枠は、まだとりつけないで下さい。
- 72mm×50mmまでのサイズの、比較的小さいデザイン（文字等）を選びます。

アダプターの識別
刺しゅう枠ははずした状態で。

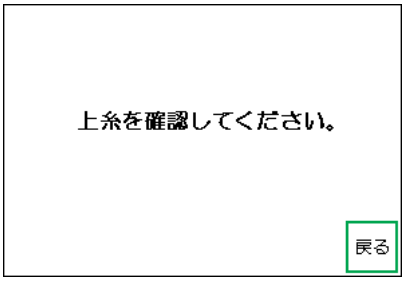


- デザイン、または文字・数字を選びます。
- 選んだデザインが刺しゅう画面で処理されます。
- 同時に刺しゅう枠の接続部が起動して、アダプターの識別のための信号を出します。
- ステッチの変換が完了し、<<チェック>>ボタンがタッチされるまでは刺しゅう枠はとりつけないで下さい。

刺しゅう枠の取り付け

- アダプターの識別が完了したら、刺しゅう枠をとりつけます。
- デザインの変更等を行った後、刺しゅうを開始します。

刺しゅうの途中で糸が切れたら

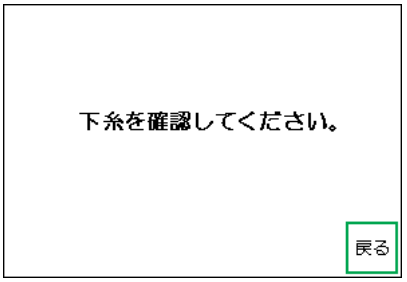


刺しゅうの最中に、上糸または下糸が切れた場合には、コンピューターミシンが自動的に停止するように設定できます。 下糸が切れた場合には、180/185 型では自動的に停止させられますが、165/170 にはその機能が付いていません。刺しゅうを始める前に必ず下糸が十分あることを確認しましょう。

セットアップ機能で<<**上糸切れ監視機能**>>および<<**下糸残量監視機能**>>を起動しておかないとこれらの機能は作動しません。

上糸が切れた場合

- 165/170/180/185 型では上糸が切れた場合、エラーメッセージが表示され、コンピューターミシンが自動停止するよう設定できます。
- エラーメッセージが画面に表示されます。
- 上糸を確認し、必要ならば上糸をかけ直して下さい。
- <<**戻る**>>ボタンをタッチすると、刺しゅう画面に戻ります。

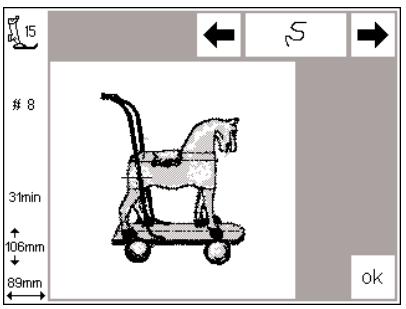


下糸が切れた場合

- 180/185 型では、下糸残量が少なくなった場合（ふつうの太さの糸では残量が1～6メートル、細い糸では15メートル程度）、コンピューターミシンが自動停止します。
- メッセージが画面に表示されます。
- 下糸を確認し、ボビンを巻き直して下さい。
- <<**戻る**>>ボタンをタッチすると、刺しゅう画面に戻ります。
- 165/170 型には、下糸切れ自動停止機能は付いていません。

糸切れした場合の処置

- 刺しゅう画面の<<**針送り機能**>>ボタンをタッチします。
- 画面が変わります。



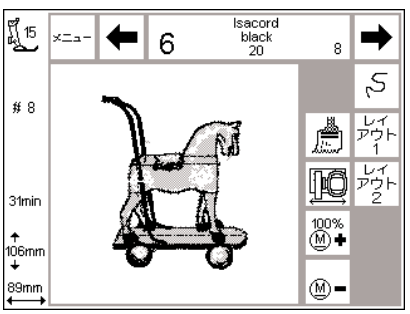
一針送り機能の使い方

チェック方法

- 左右どちらかの矢印ボタンにタッチします。（右は前進、左は後退）
- 刺しゅう枠がそれに合わせて動きます。
- タッチし続けると、素早くステッチ順のチェックができます。

糸切れの場合

- 左の矢印を素早く1回タッチします。
- 1 回のタッチにつき1針、後退します。
- タッチし続ければ、針は続けて戻ります。



刺しゅうを再開するには

- 糸切れを起こした地点の数針前から再開できるように、針を戻しておきます。
- <<ok>>ボタンをタッチします。
- 刺しゅう画面にもどります。
- 押え金を下げます。
- フットコントローラーまたは手元返し縫いボタンを押して、再開します。
- 数針縫ったところで一度止めて、糸端を切ってから、作業を続けてください。

刺しゅう糸について

通常刺しゅうデザインはレーヨンやポリエステルの 40 番の糸を使う事を前提としてデザインされています。刺しゅうには、つやのあるレーヨン糸や高品質のポリエステル糸が最適です。 色も各メーカーが豊富に揃えていますので作品にあった糸を選びましょう。

下糸には、細いダーニング用、刺しゅう用またはオーバーロック用の糸がよいでしょう。 色は白、または上糸に合わせて選ぶのがよいでしょう。

刺しゅうの出来栄えは、糸の品質によって大きく左右されます。できるだけ一流メーカーの製品を使用することをお勧めします。品質の悪い糸を使うと、糸切れ、ほつれ等が起こります。

メタリック糸には、特別付属品の糸補助ガイドやマルチスプールホルダーなどが最適です。 必ず特殊針のメタフィル針や１３０Ｎをご使用ください。

刺しゅうデザインについてのまとめ

刺しゅう機に内蔵されているデザインについて、まとめてみます。

デザインにはそれぞれ必要な色の総数と、各色部分を刺しゅうする順番が表示されています。 この順番は、より美しい仕上がりのために、刺しゅう機自体が計算し、決定したものです。

お好みにより色を変えたり、混ぜてみたりしてください。

ヒント：
自分の選択に迷いがある場合、ためしに端切れを使って刺しゅうしてみましょう。
お試し後の端切れの刺しゅうはそのまま、個性的なオリジナルのグリーティングカード等の表紙に再利用できます。

中型刺しゅう枠（130x100mm）

刺しゅう機用。布自体が小さい、または縫い代がある等、大型の刺しゅう枠が使えない時に有効です。ご使用に際しては、自動刺しゅう枠サイズチェック機能でデザインと刺しゅう枠のサイズを合わせます。

刺しゅうデザインカード

いろいろなテーマのデザインが記憶されたカードです。現在発売中のものに加え、ベルニナでは特に飽きのこない、デザイナータッチのエレガントで、個性的なデザインを、今後続々と発売してゆきます。ブランクのカードは、あなたのオリジナルのデザインを保存するのに必要です。

ベルニナ・パソコン用刺しゅうソフト（完全日本語版）

ベルニナアーティスタパソコン用刺しゅうソフトを使えば、既存のデザインをパソコンにロードしてから、他のデザインや文字と組み合わせて、まったく新しいデザインを作り出すことが可能になります。また、ご自分で描かれた絵からデザインを作成することもできます。

デザインは、コンピューターのアート用プログラムで作成しても、絵や写真をスキャナーで取りこんでもかまいません。ボーダーや質感の異なるフィルステッチで飾ってみましょう。果てしない創造力の世界がここに開けます。
既存のものを編集した、または新規に作成したデザインは、すべてお手持ちのコンピューターや、パーソナルデザインカードまたは刺しゅう機に保存して、いつでも使用することができます。

索引

ア
アーチ型—レタリング 34
アイコン(絵文字) 13
アクセサリー(特殊) 5,39
アクセサリー(標準) 5
アダプターの接続 7
安全にご使用頂くために 1
安定紙 17
イ
糸通し 8
糸調子 9
移動-機能 13
移動-デザインの 24
色の順番 11,23
ウ
ウェルカム画面 9
オ
ok(確認)ボタン 12
カ
回転機能 12
回転-文字 21
回転-デザイン 33
拡大-デザインの 26
ク
組合せ-文字とデザイン 30
コ
コードのはずし方 6
コードを接続する 6
サ
サイズの変更機能 12,35
削除機能 13
削除-メモリーの 35
削除-メモリーカード 36
左右反転機能 12
シ
CPS 刺しゅうデザイン 39
刺しゅう-糸 38
-ｶｰﾄﾞ 39
-ﾒﾆｭｰ画面 20
-デザイン、文字,数字 20,21
-画面 23
刺しゅう機能 11
刺しゅう枠の調整 19
セットアップ画面を開く 19
刺繍機とミシンの接続方法 6
刺しゅう機の接続方法 6
刺しゅう所要時間表示 14
刺しゅう枠 19
-中型 39
-取り付け方 19
-位置調整 19
-自動サイズ読取 20
下糸テンション 9
自動糸カッター 22
始点 29
機能 12
縮小-デザインの 26
ス
ズーム(左右,縦)機能 13,26
ステッチ数の再計算 14
ステッチ数の調整 29
ステッチ長さ調節機能 13,29
ステッチ密度調整機能 13
砂時計 12
セ
接着芯 17
タ
単色デザイン 24
チ
中心(デザインの) 18,29
直線縫い用針板 8
チェック-機能 12
刺しゅうサイズ 26
テ
デザイナー 39
テンプレート(刺しゅう用) 18
ヌ
塗りつぶし機能 11
ハ
針(刺しゅう) 8
針板(刺しゅう用) 8
貼付け機能 13,32
反転(左右) 33
ヒ
一針送り機能 11
100%機能 12
表示機能 12
表示-適正刺しゅう枠 14
表示-デザインのサイズ 14
表示-押え金 14
表示-所要時間 14
-デザインの 29
フ
複製—デザインの 33
フットコントローラー 22
フリーアーム刺しゅう 7,36
フリーアーム刺しゅう枠 7
ホ
保存-デザインの 34
保存-メモリーカード 35
メ
メッセージ 15,16
メニュー画面 10
メニュー画面ボタン 11
メモリーカード 35
メモリー機能 12
モ
目次 3
デザインセンター機能 12
デザインと文字の組合せ 31,34
デザインの選択 9
デザインの色の選択 21
ヨ
呼び出し機能 13
レ
レイアウト機能 11
レイアウト1、2 11,24
レイアウト-拡張機能 24

04/01 JA 030867 51 10